SONY

3-860-604-09 (2)

トリニトロン® ハイビジョンテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KW-32HDF9
KW-36HDF9

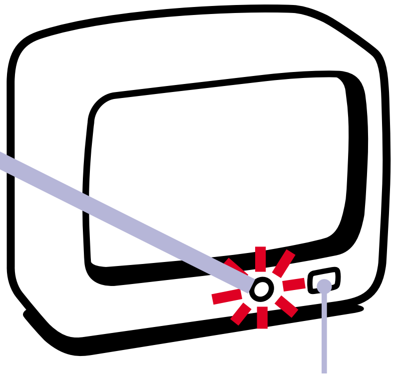
目次

この取扱説明書は、左記の2機種共通です。

テレビ、衛星放送を見る

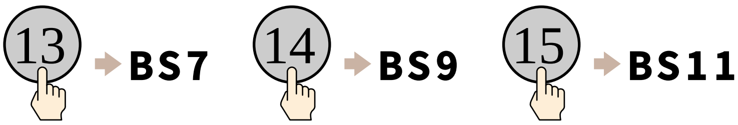
1 赤いスタンバイ／スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押します。



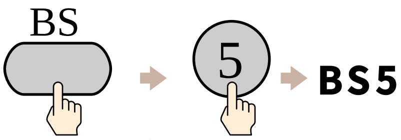
2 チャンネルを選ぶ。

ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。
衛星放送（BS）を見るには、数字ボタン⑬〜⑮を押します。



チャンネル＋／－ボタンを押すと、①〜⑮の放送が順に映ります。
衛星放送（BS）は、BSボタンを使って見ることもできます。

例



（BSボタンを押してから
3秒以内に押してください。）

3 音量を調整する。

- スタンバイ／スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。（チャンネルポン機能／インデックスポン機能）
- 省電力のため、放送が終了して約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- 有料の衛星放送（WOWOWなど）を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください（☞21ページ）。

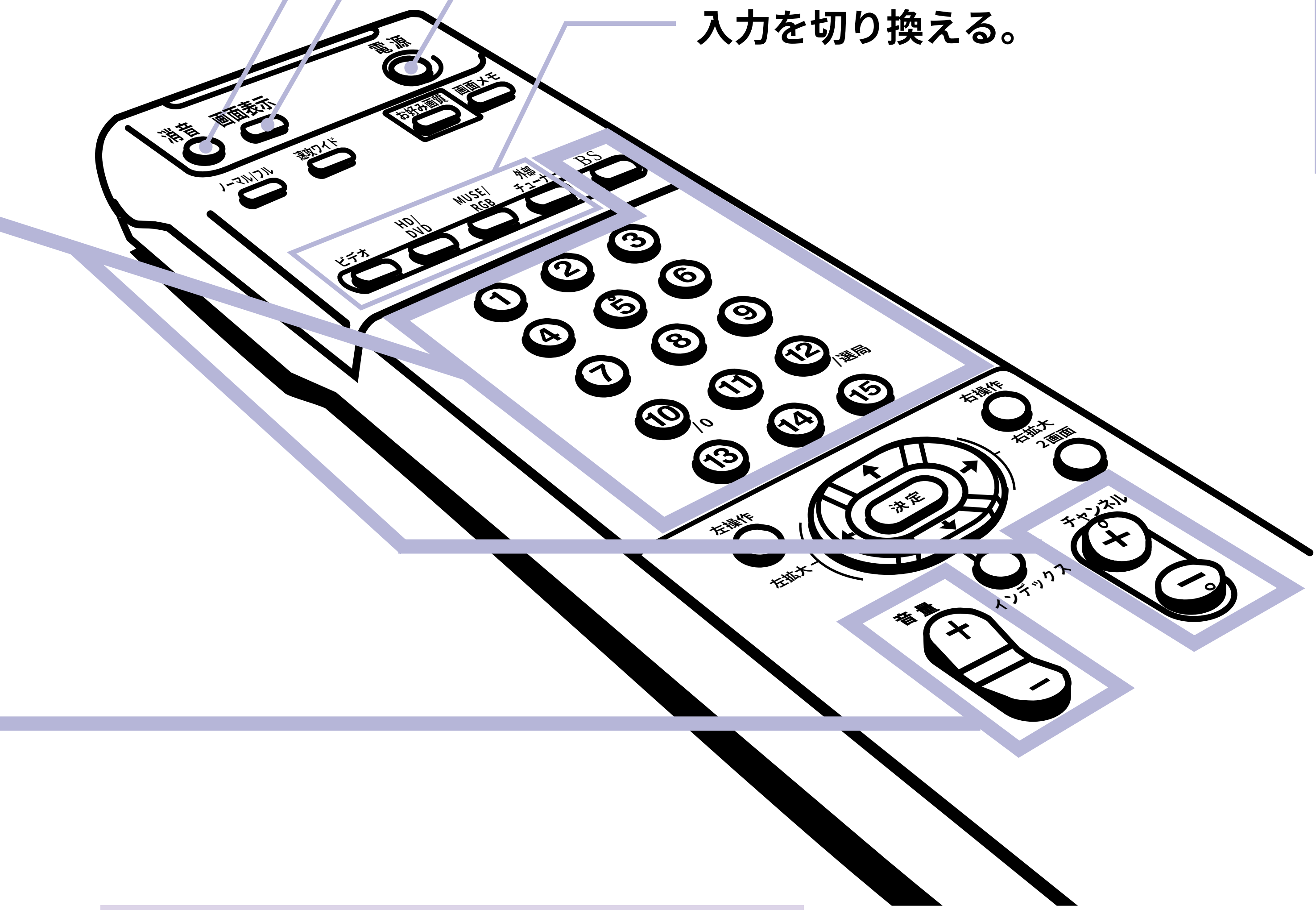
操作編

音を一時的に消す。

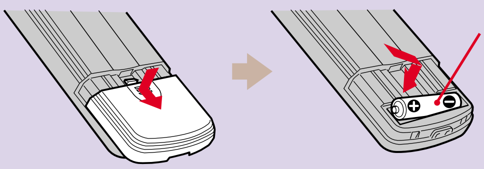
チャンネル表示などを出す。

テレビをつける／消す。

入力を切り換える。



リモコンに乾電池を入れるには



単3形乾電池（付属）
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

ワイド画面を楽しむ（オートワイド）

オートワイドとは本機が画像の種類を判断したり、画像といっしょに送られる識別信号＊に応じて、下記のように、**自動的に画面を切り換える機能**です。画像に応じて最適なワイド画面でお楽しみいただけます。

＊ **識別信号**
本機がその映像に最適なワイド画面へ切り換えられるように、画像の横縦比（4：3や16：9など）の情報をあらかじめ含んだテレビ放送やビデオ信号のことです。
テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送と4：3映像の識別信号があります。また、ビデオカメラなどのビデオ機器では、ID-1方式☆やS-1方式☆の識別信号があります。

こちらの画面が… → オートワイドがはたらくと… → …このように変ります。

メニュー操作で、「オートワイド」を「2」、「4：3映像」を「ワイドズーム」に設定したとき（☞6、7ページ）

識別信号のない画像のとき

通常のテレビ放送

4 × 3



ワイドズーム

横縦比4:3の映像（通常のテレビ画像）を拡大し、16：9の画面におさまるように上下のはみ出た部分を圧縮します。

16 × 9



ワイドズーム

黒帯付きの映画（字幕は映像の中）



ズ　ー　ム

横長の映像をそのまま拡大します。



ズーム

黒帯付きの映画（字幕は映像の外）



字　幕　入

横長の映像を拡大し、16：9の画面におさまるように字幕の部分を圧縮します。



字幕入

識別信号のある画像のとき

ワイドクリアビジョン放送



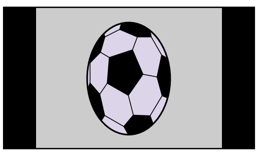
ズ　ー　ム

16:9の映像をそのまま画面いっぱいに拡大します。



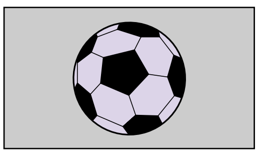
ズーム

S-1方式☆やID-1方式☆の識別信号が記録されているビデオ機器の映像



フル（またはズーム）

フル：4:3の映像を横幅だけ画面いっぱいに拡大します。
（ズーム：16：9の映像をそのまま画面いっぱいに拡大します。）



フル

オートワイドの「1」と「2」について

オートワイドには、「1」と「2」の2種類があり、メニュー操作で設定することができます。

オートワイド：1

テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送（4：3映像）に、映像を判別する識別信号が、電波に乗って送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別信号が出力されています。
このような識別信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイドの「1」です。ただし、識別信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド：2

左ページのように、識別信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

したがって、通常、ご家庭でオートワイド機能を十分にお楽しみいただくために、**「オートワイド」を「2」に設定すること（☞6ページ）をおすすめします。**

識別信号のない映像は

映像の種類	オートワイド：1	オートワイド：2
通常のテレビ放送（4：3映像）	手動で選んだ画面モードで映ります。	メニューで設定した画面モード（「ワイドズーム」または「ノーマル」）で映ります。☞6〜7ページ。
黒帯付きの映画など	手動で選んだ画面モードで映ります。	ワイド画面（「ズーム」または「字幕入」）で映ります。

識別信号のある映像は

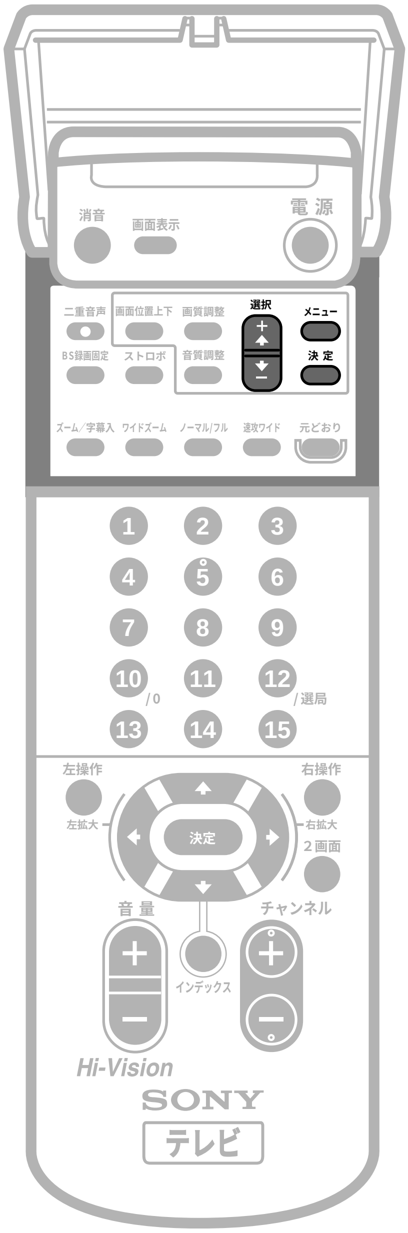
映像の種類	オートワイド：1	オートワイド：2
ワイドクリアビジョン放送	ワイド画面（「ズーム」）で映ります。	
S-1方式☆、ID-1方式☆識別信号の入った映像	ワイド画面（信号に対応した「ズーム」または「フル」）で映ります。	
4：3映像の識別信号が入っているテレビ放送	4：3画面（ノーマル）で映ります。	メニューで設定した画面モード（「ワイドズーム」または「ノーマル」）で映ります。☞6〜7ページ。

手動で切り換えた後などでは、右の表のように、ならないことがあります。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

つづく

ワイド画面を楽しむ（つづき）



メニュー画面で、暗く灰色に表示されている項目は、選べません

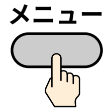
見ている映像の種類やメニュー画面で設定した状況によって、選べないように制約されているためです。

オートワイドを設定する

メニュー操作で、オートワイドを「1」か「2」に設定します。

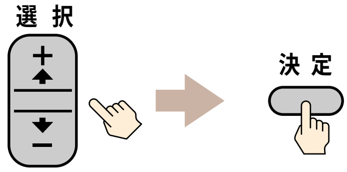
1

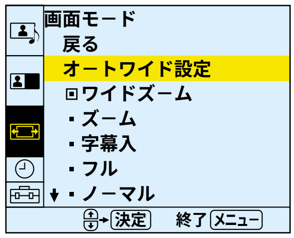
メニューボタン押す。



2

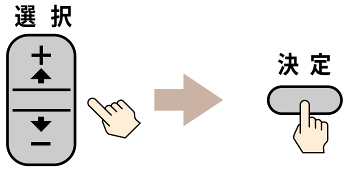
選択＋／－ボタンを押して「⊟（画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。

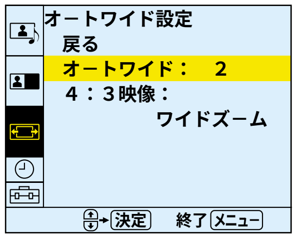




3

選択＋／－ボタンを押して「オートワイド設定」を選び、決定ボタンを押す。

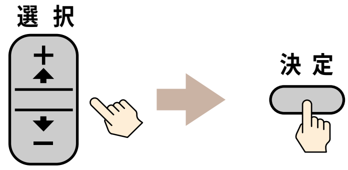




4

選択＋／－ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。

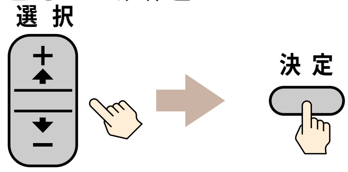
「1」を選んだ場合は、次ページの手順7にすすんでください。



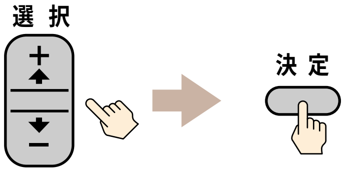
5

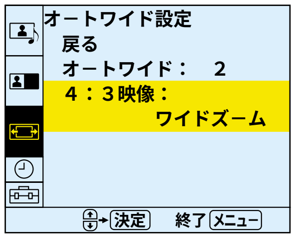
（手順4で「オートワイド：2」を選んだ場合のみ）

選択＋／－ボタンを押して「4：3映像」を選び、決定ボタンを押す。



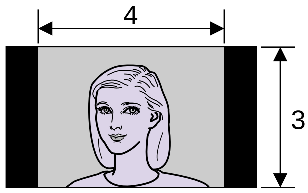
6 （手順4で「オートワイド：2」を選んだ場合のみ） 選択＋／－ボタンを押して通常のテレビ放送（4：3映像）をどう映すか（「ノーマル」または「ワイドズーム」）を選び、決定ボタンを押す。



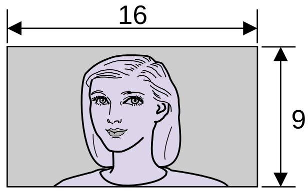


通常のテレビ放送（4：3映像）は、次のように切り換わります。

「ノーマル」にすると
横縦比4：3の映像のまま映ります。



「ワイドズーム」にすると
横縦比4：3の映像（通常のテレビ画像）を拡大し、16：9の画面におさまるように上下のはみ出た部分を圧縮します。



7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

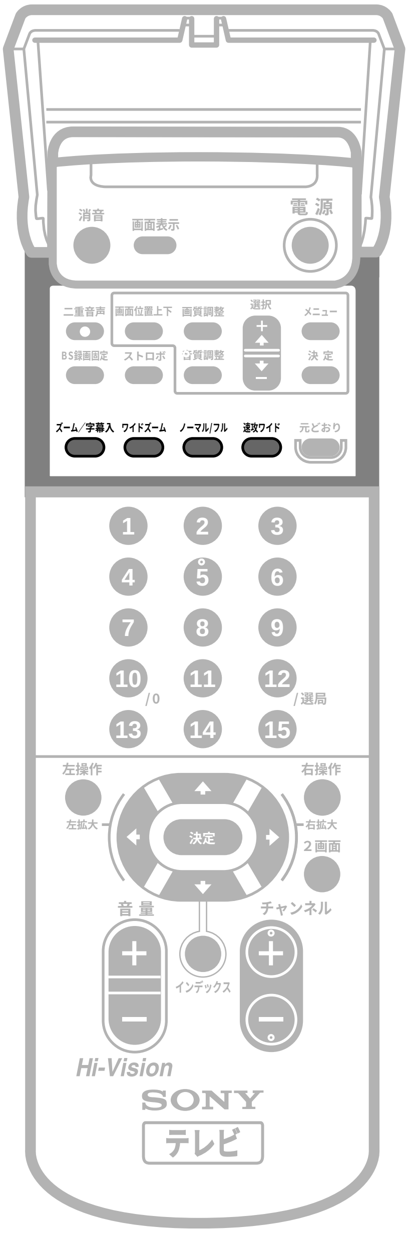
オートワイド機能を働かせたくないときは

☞6ページの手順4で「切」を選びます。
識別信号の有無に関係なく、すべての映像を、現在選んでいる画面モードで映します。チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入／切しても、画面モードは切り換わりません。

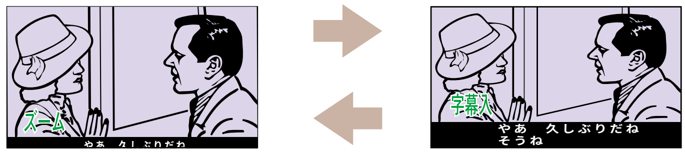
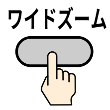
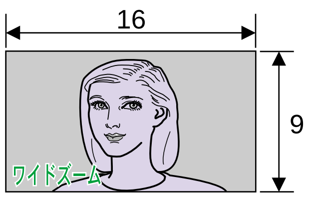
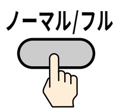
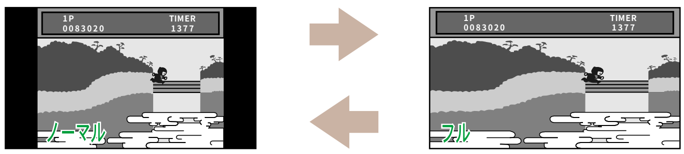
ワイド画面に関して

- このハイビジョンテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このハイビジョンテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4：3の映像を、ワイドズームモードを利用してハイビジョンテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

ワイド画面を手動で切り換える



お好みのワイド画面に手動で切り換えることができます。
また、電波の受信状態が悪いときや、暗い部分が多い映像など、オートワイドが正しく動作しないときも、手動で切り換えてください。

押すと…	…このような画面モードに切り換わります。
	
	
	
	すばやく最適なワイド画面に切り換わります。

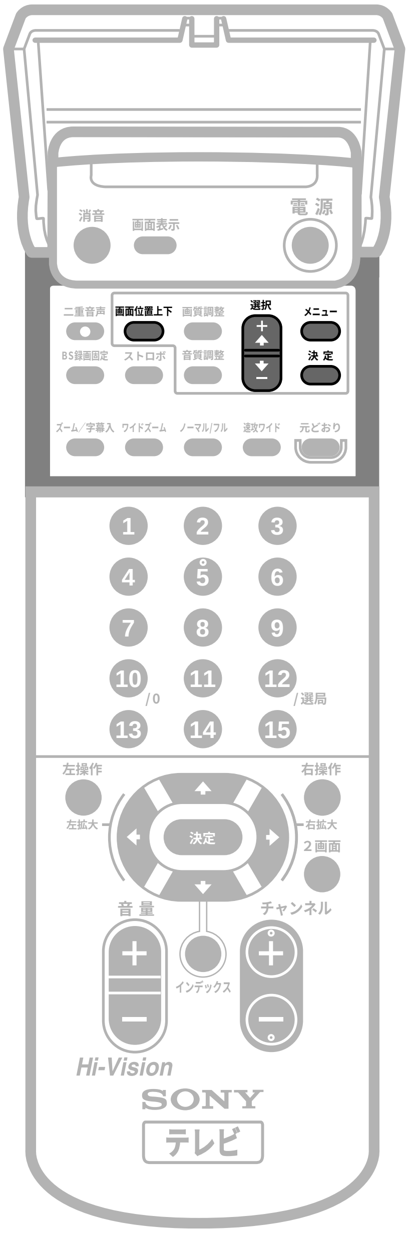
画面モードを固定しておくには
「オートワイド」を「切」に設定します。☞6ページ。

手動で切り換えたあとは

オートワイドを「1」に設定しているとき
あらたに識別信号のある画像を受信すると、信号に忠実な画面モードに変ります。

オートワイドを「2」に設定しているとき
識別信号のない画像では、オートワイド機能が働かなくなります。（速攻ワイドボタンで切り換えたときのみ、オートワイド機能は働きつづけます。）
チャンネル切換や入力切換、電源入／切を行うと、再びオートワイド機能が働くようになります。

ワイド画面を使いこなす



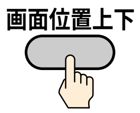
画面位置を上下に調整するには

以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。

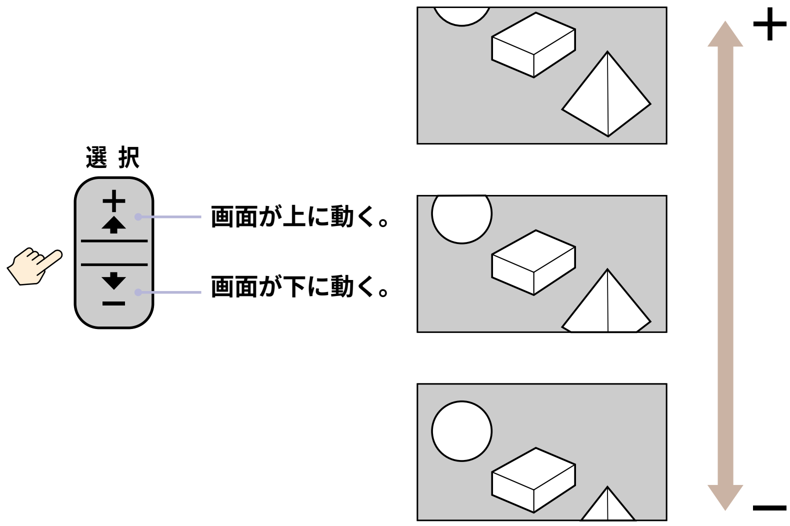
- **ワイドズーム画面で**画面の上または下が欠けるとき。
- **ズーム画面で**画面を見やすい位置にしたいとき。
- **字幕入画面にしても**字幕が画面に入りきらないとき。

ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

1 画面位置上下ボタンを押す。

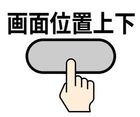


2 選択＋／－ボタンを押して画面の位置を調整する。



3 画面位置上下ボタンを押す。

画面位置はメニューでも設定できます。



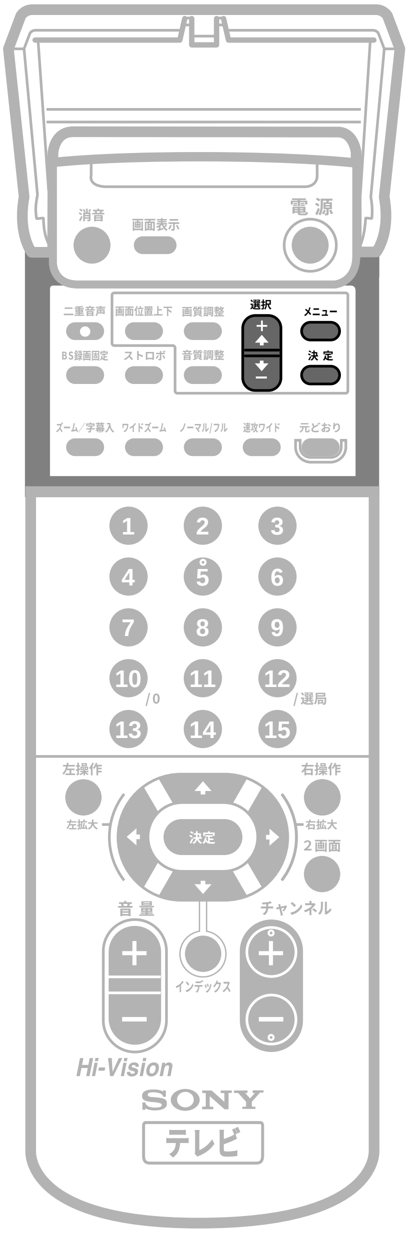
左右の画面位置は調整できません

PC／RGB入力端子やHD／DVD1、2入力端子につないだ機器の映像は調整できます。
☞23ページ

操作編

つづく

ワイド画面を使いこなす（つづき）

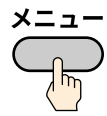


「横サイズ」は調整できません
PC／RGB入力端子やHD／DVD1、2入力端子につないだ機器の映像は調整できます。
☞23ページ

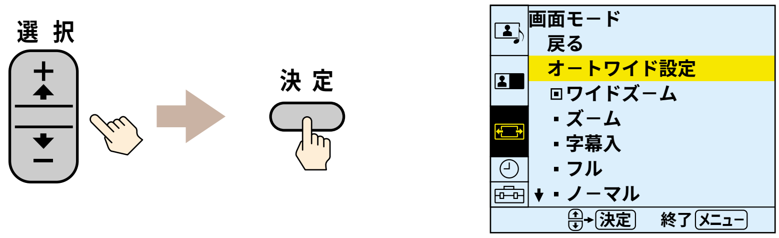
映像を縦方向に伸ばしたり縮めたりするには

ワイドズーム、ズーム、字幕入画面のときに行えます（フル、ノーマルではできません）。また、それぞれの画面モードごとに設定できます。

1 **メニューボタンを押す。**



2 **選択＋／－ボタンを押して「（画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。**

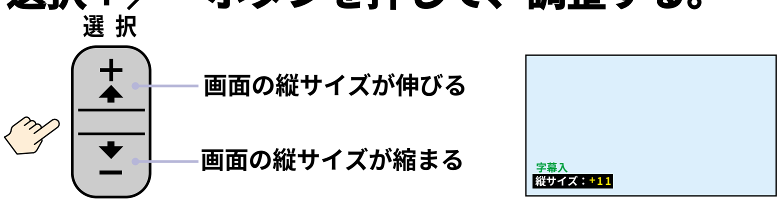


3 **選択＋／－ボタンを押して「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。**

選択－ボタンを押し続けると、「（画面モード）」の次画面が現れ、「縦サイズ」がでてきます。

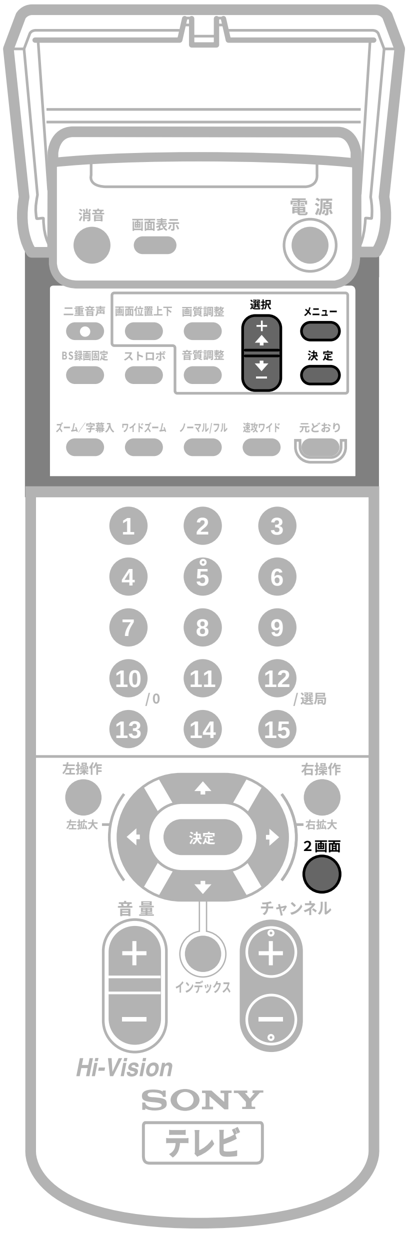


4 **選択＋／－ボタンを押して、調整する。**



5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

2画面で見る（フレキシブル2画面機能）



通常のテレビ放送だけでなく、ハイビジョン放送やDVD、パソコン（☞22ページ）など、2つの映像を同時に見ることができます。また、左右の画面の大きさを思いのままに変えて、見ることができます。

2画面にする

2画面ボタンを押す。

通常の画面



次のときは、2画面を同時に見ることはできません

- VHF／UHF放送の同じチャンネル
- BS放送の同じチャンネル*
- BS放送の別々のチャンネル*
- ハイビジョン放送、MUSE1入力、MUSE2入力の映像の組み合わせ
- HD／DVD1入力、HD／DVD2入力、PC／RGB入力の映像の組み合わせ**
- 同じ入力の映像

＊　BSチューナー内蔵ビデオデッキで選んだBS放送でビデオ入力を選べば、見ることができます。
＊＊ これらの映像は、必ず左画面に表示され、右画面には表示できません。

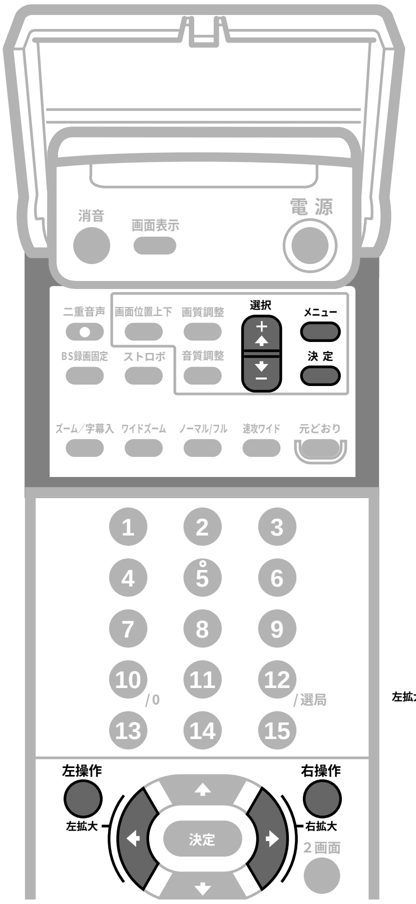
ハイビジョン放送やMUSE入力のときは
通常のテレビ放送の方式 (NTSC) と同じ画質で表示されます。

2画面のままテレビの電源を切り、その後再び電源を入れると
自動的に1画面に戻ります。

ご注意
ストロボを見ているときは、2画面を見ることはできません。

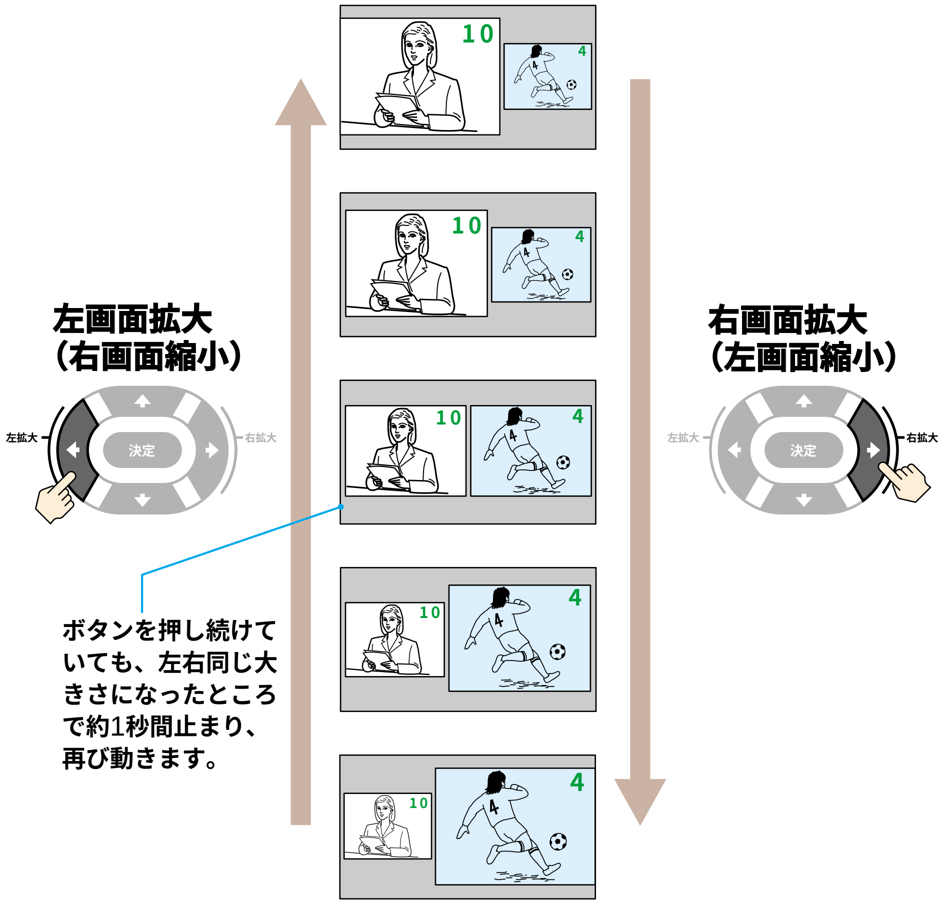
つづく

2画面で見る (つづき)



画面の大きさを変える

左右の画面の大きさを、スムーズに変えることができます。
(RGB入力の映像のときは☞13ページ)



左右の画面の大きさを変えたときは、その大きさの状態を本体が記憶し、もう一度2画面にしたときにその大きさで表示します。

メニューでも画面の大きさを変えられます

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「(2画面)」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「左拡大／右拡大」を選び、決定ボタンを押す。
4 左画面*を拡大するときは、選択＋ボタンを押します。右画面を拡大するときは、選択－ボタンを押します。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

＊ RGB入力のときは、RGB入力の画面が常に左側に最大の大きさで表示されるため、左画面（RGB入力）の大きさは変えられません。
選択－ボタンを押すと右画面が拡大し、選択＋ボタンを押すと右画面が縮小します。このとき、右画面の大きさは本体に記憶されません。

メニューでも操作画面を選べます

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「(2画面)」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「操作入替」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して、「左操作」か「右操作」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

左画面で放送が終了すると

両画面とも自動的に消音し、右画面を操作画面にしても音声は出なくなります。1画面に戻してから、終了していないチャンネルを選ぶと音が出ます。また、省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

2画面を見た後で、1画面に戻ると

2画面のときに選んでいた操作画面が映ります。

2画面のときのオートワイドのはたらきかた

識別信号のない映像は、「オートワイド」を「2」に設定（☞5ページ）していても、オートワイド機能は働きません。
また、識別信号のある映像とハイビジョン放送は、下のイラストのようにワイド画像のまま表示されます。

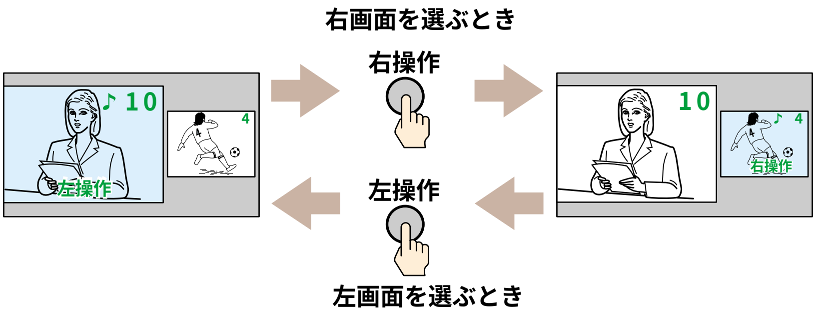


2画面を同時に録画することはできません

本機後面のBS／ビデオ出力端子からは、左画面の映像／音声のみが出力されます。また、本機前面のPC／RGB入力端子および本機後面のHD／DVD1、2入力端子につないだ機器の映像も録画できません。

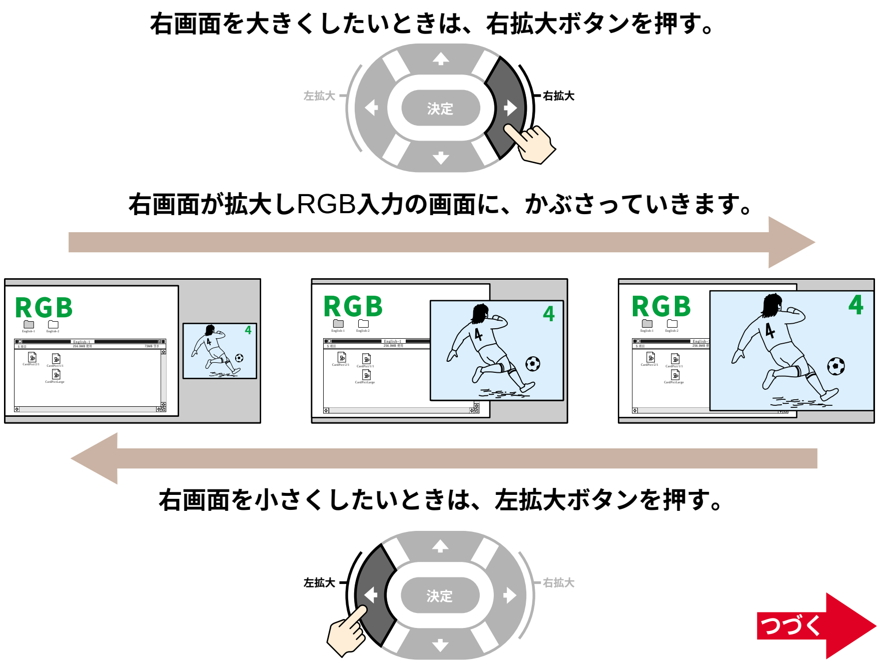
操作したい画面を選ぶ

音量を調節したり、チャンネルや入力を切り換えたりする画面（操作画面）を選びます。
2画面にした直後は、左の画面が選ばれています。スピーカーからは、操作画面の音声が出ます（ヘッドホンをつないでいるときは、☞14ページ）。



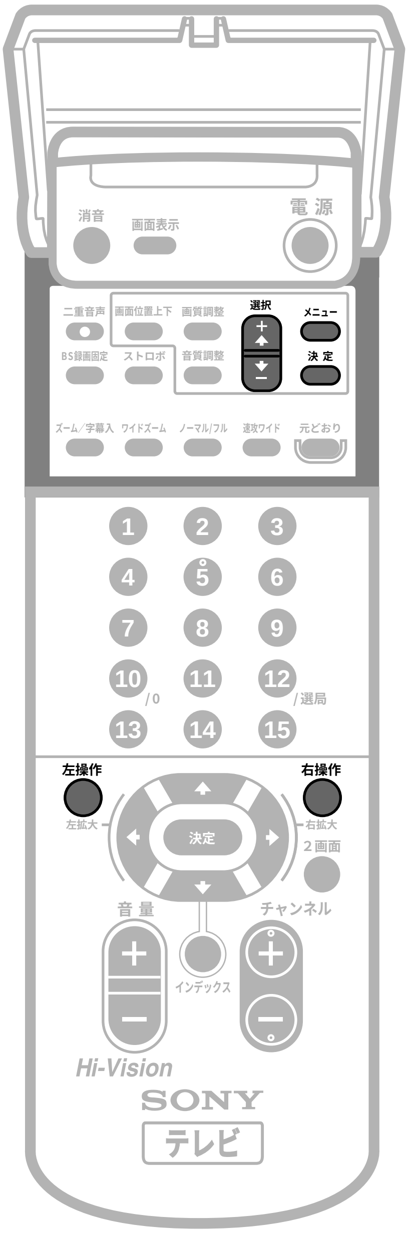
パソコンなどRGB入力の映像のとき

本機前面のPC／RGB入力端子や裏面のHD／DVD2入力端子につないだパソコンなどの映像（RGB入力）は、つねに左画面に最大の大きさで表示されます。RGB入力の映像の大きさは変えられません。



つづく

2画面で見る（つづき）

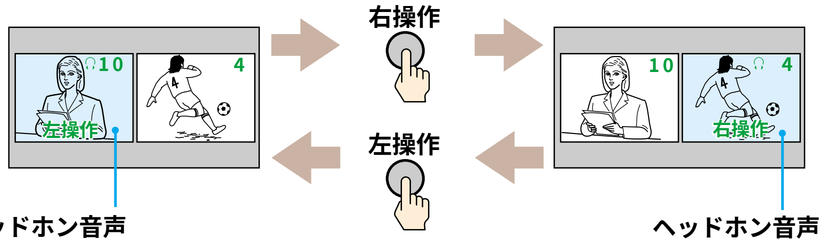


ヘッドホンで音声を聞くには

ヘッドホンを使って、2画面の音声を聞くことができます。状況に応じて、ヘッドホンモードを切り換えてください。

ひとりで静かにご覧になるとき……「ヘッドホンモード：1」

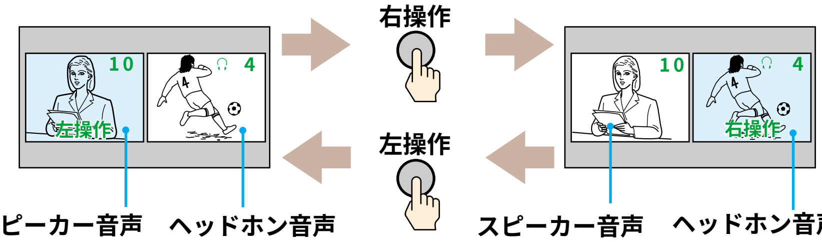
操作画面（音量を調節したり、チャンネルや入力を切り換えられる画面）の音声がヘッドホンから出ます。スピーカーからは音声は出ません。
左操作ボタンや右操作ボタンを押すと、選んだ操作画面の音声に切り換わります。



二人で別々の番組をご覧になるとき……「ヘッドホンモード：2」

スピーカーとヘッドホンから別の音声が出ます。
まず、左操作ボタンまたは右操作ボタンを押して、スピーカーで音声を聞きたいほうの画面を選んでください。
次に、メニューで「ヘッドホンモード」を「2」に切り換えてください
(☞15ページ)。
ヘッドホンからは、スピーカー音声と逆の画面の音声が出ます。「2」を選んだ後は、左操作ボタンや右操作ボタンを押しても、スピーカーとヘッドホンの音声は入れ替わりません。

操作画面（音量を調節したり、チャンネルや入力を切り換えられる画面）は、左操作ボタンまたは右操作ボタンを押して、選んでください。



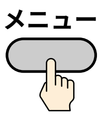
1画面のときにヘッドホンをつなぐと
ご覧になっている画面の音声をヘッドホンで聞くことができます。スピーカーからは音声は出ません。

2画面のときにヘッドホンを抜くと
「ヘッドホンモード：1」のときはヘッドホンで聞いていた音声が出ます。
「ヘッドホンモード：2」のときは、それまでスピーカーから出ていた音声が出ます。
また、それまでスピーカーから音声が出ていたほうの画面が操作できます。

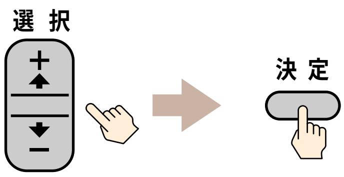
外部スピーカーをつないでいるときは
「ヘッドホンモード」が「1」のときは、本機後面の音声出力端子からは、操作画面の音声が出力されます。
「ヘッドホンモード」が「2」のときは、本機後面の音声出力端子からは、テレビのスピーカーと同じ音声が出力されます。

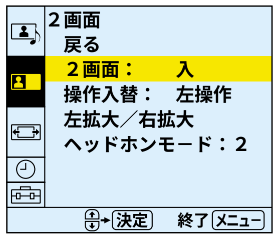
ヘッドホンモードを選ぶには

1 **メニューボタンを押す。**

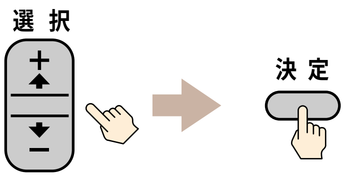


2 **選択＋／－ボタンを押して▶を「 (2画面)」の位置に移動し、決定ボタンを押す。**

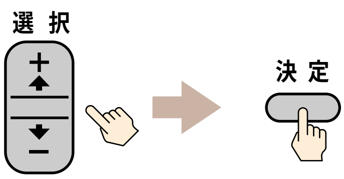




3 **選択＋／－ボタンを押して「ヘッドホンモード」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **選択＋／－ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

チャンネルを一覧表示する（ピックアップインデックス機能）

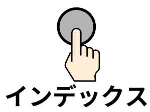


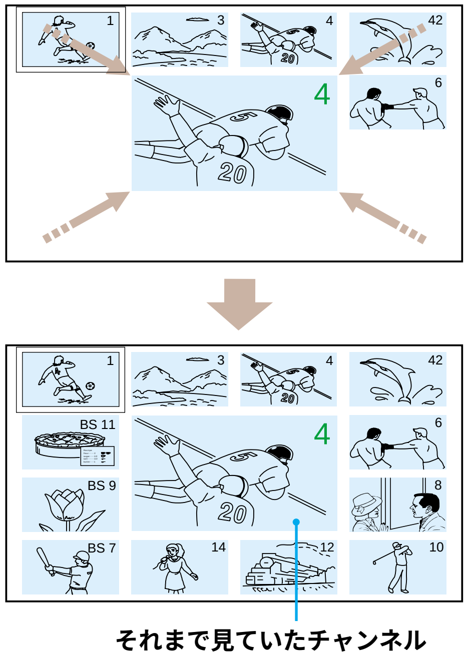
受信しているすべてのチャンネルを順々に画面に映し出すことができます。チャンネルを選んだり、裏番組をチェックするときに便利です。また、画面中央に、気になった子画面をすばやく呼び出したり、再び元に戻したりと、楽しみながら番組を選ぶことができます。

あらかじめ、チャンネル設定をしておいてください。（☞38ページ。）

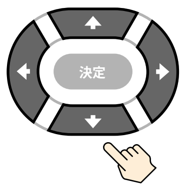
1 インデックスボタンを押す。

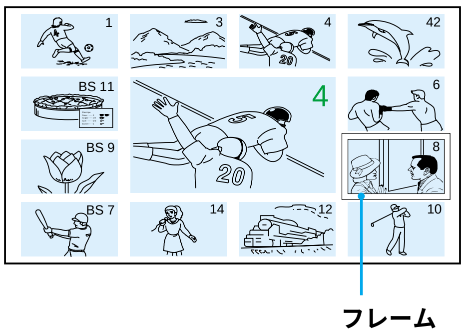
それまで見ていたチャンネルが中央に表示され、あらかじめ設定されているチャンネルが左上から時計周りに12画面表示されます。周りの12画面は、1秒ごとの動画が表示されます。





2 ↓／→／↑／←ボタンを押して、見たいチャンネルの上に、フレームを移動させる。





設定されているチャンネルが13以上あるときは

左上の画面に戻った後、そのチャンネルのうえにかぶさって、13番目以降のチャンネルが表示されます。

BSチャンネルについて

- BS録画固定時（☞29ページ）は固定されたチャンネルのみインデックス画面に表示されます。
- 中央の画面にBSチャンネルが映っているときは、BSチャンネルはそのチャンネルのみが、インデックス画面に表示されます。
- デコーダー入力を設定していても（☞46ページ）、有料BSチャンネルはスクランブル☆がかかったまま、インデックス画面に表示されることがあります。

2画面のときにインデックス画面にすると

- 操作画面のチャンネルが中央に移動します。
  ただし、「ヘッドホンモード」を「2」にしていて（☞14ページ）、ヘッドホンをつないでいるときは、スピーカーから音声が出ているほうの画面が中央に移動します。
- インデックス画面のときにインデックスボタンをもう一度押すと、もとの画面に戻ります。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

ハイビジョン放送やMUSE入力のときは
通常のテレビ放送の方式 (NTSC) と同じ画質で表示されます。

スタンバイランプが点灯しているときにインデックスボタンを押すと
テレビの電源が入り、インデックス画面が表示されます。
あらかじめ見たい番組が決まっていないときなどに使うと便利な機能です。（インデックスポン機能）

中央の画面で放送が終了すると
省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

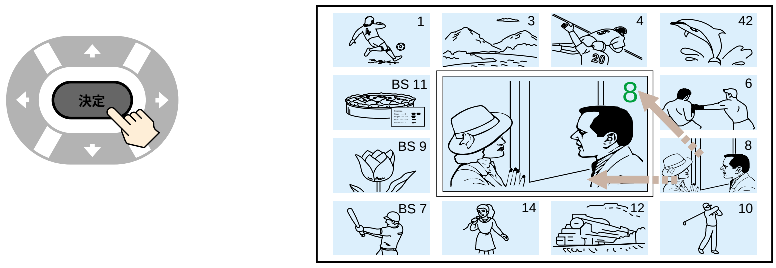
インデックス画面を録画することはできません
本機後面のBS／ビデオ出力端子からは、インデックス画面を出したときの中央画面の映像／音声のみが出力されます。

インデックス画面の画面モードについて
オートワイドの「4：3映像」の設定（☞6ページ）にしたがって変わります。
「オートワイド」を「1」または「切」にしてご覧になっているときに、インデックス画面の画面モードを変更したい場合は、一度「オートワイド」を「2」にして「4：3映像」を設定したあとで、「オートワイド」を「1」または「切」に戻してください。
- 「4：3映像」が「ノーマル」のときは4：3の画面で表示されます。
- 「4：3映像」が「ワイドズーム」のときは画面いっぱいに表示されます。

ご注意
- インデックス中は画面モード（ワイドズームなど。☞4ページ）は切り換えることはできません。
- ストロボや画面メモを見ているときは、インデックス画面を見ることはできません。
- RGB入力の映像を見ているときは、インデックス画面を表示できません。

3 決定ボタンを押す。

選んだチャンネルが中央の画面に移動します。また、音声も選んだチャンネルのものになります。

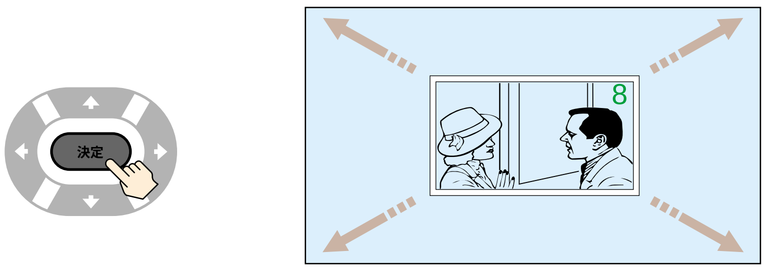


4 中央の画面に移動したチャンネルを見るかどうか選ぶ。

中央の画面に移動したチャンネルを見るときは、手順5へ進んでください。
他のチャンネルを見るときは、手順2と3を繰り返してください。
フレームを中央の画面から周りの画面に移動すると、中央の画面には、インデックス画面を初めて出したときのチャンネルが映ります。手順5で決定ボタンを押さない限り、中央の画面にはつねにインデックス画面を初めて出したときのチャンネルが保持されているわけです。

5 決定ボタンを押す。

子画面がなくなり、中央の画面が選ばれて、1画面になります。
チャンネル数字ボタンを押して、ダイレクト選局したときも、選んだチャンネルの1画面になります。



インデックスを途中でやめるには

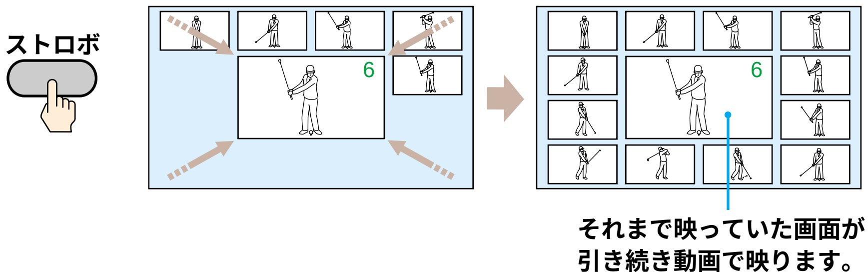
インデックスボタンをもう一度押すと、インデックスを始める前の画面に戻ります。2画面ボタンを押すと2画面になります。
また、チャンネル＋／－ボタン、チャンネル数字ボタン、入力切換ボタンを押すとインデックスは解除され、選んだチャンネル／入力に切り換わります。

連続映像を見る（ストロボ機能）



連続した画面を12コマの静止画で見ることができます。
ゴルフのスイングを分析するときなどに便利です。

ストロボボタンを押す。



ストロボ画面を録画することはできません
本機後面のBS／ビデオ出力端子からは、中央の画面の映像／音声のみが出力されます。

ハイビジョン放送やMUSE入力のときは
通常のテレビ放送の方式(NTSC) と同じ画質で表示されます。

中央の画面で放送が終了すると
省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

ご注意
- 2画面やインデックス、画面メモを見ているときは、ストロボ画面を見ることはできません。
- RGB入力の映像を見ているときは、ストロボ画面を表示できません。

もとの画面に戻すには

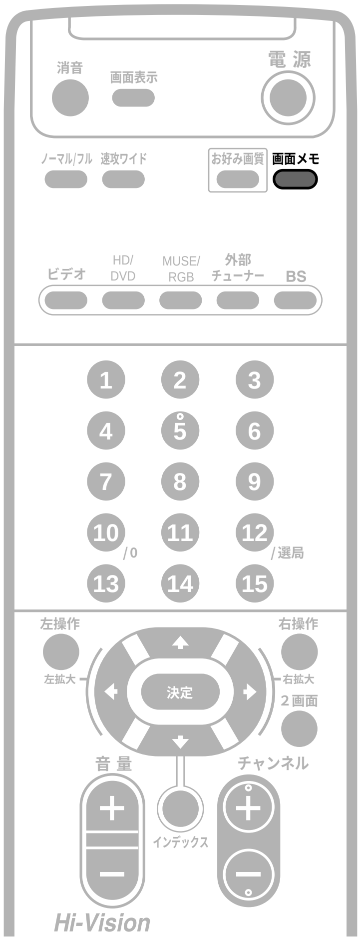
ストロボボタンをもう一度押してください。

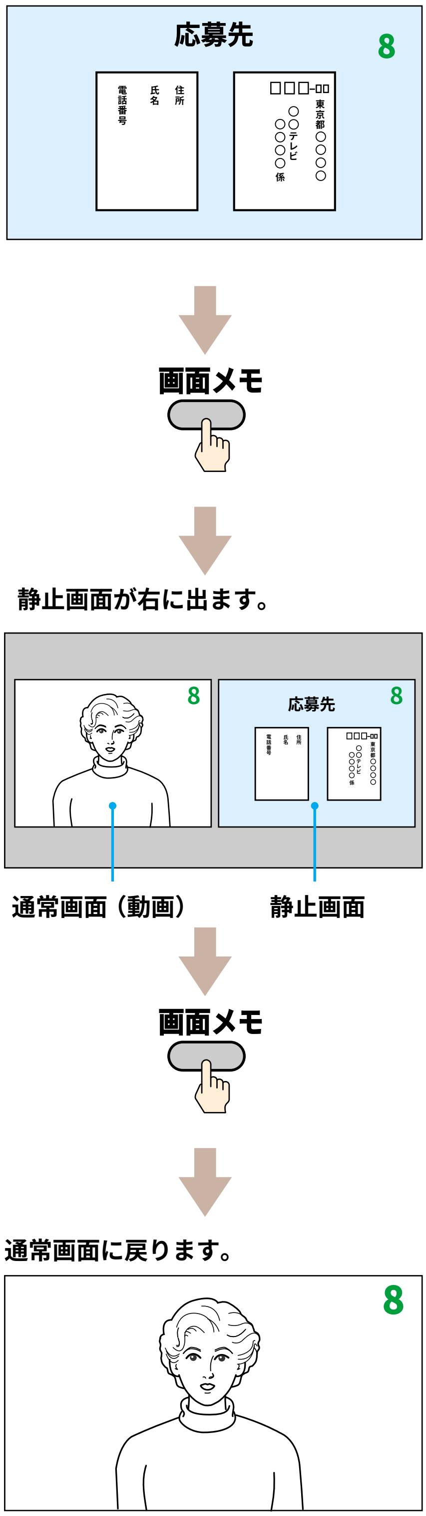
ストロボの間隔を変更するには

1. メニューボタンを押す。
2. 選択＋／ーボタンを押して「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／ーボタンを押して「ストロボ」を選び、決定ボタンを押す。
   選択ーボタンを押し続けると、「（各種切換）」の次画面が現れ、「ストロボ」がでてきます。
4. 選択＋／ーボタンを押して「0.5秒」、「1秒」、「2秒」、「4秒」の中からお好きな間隔を選ぶ。
   メニューの秒数は12コマを表示するのにかかる時間です。
5. メニューボタンを押して、メニューを消す。

画面メモをする

画面メモボタンを押した瞬間の画面が静止して、右側に移ります。応募先や料理番組の材料を書き留めるのに便利です。





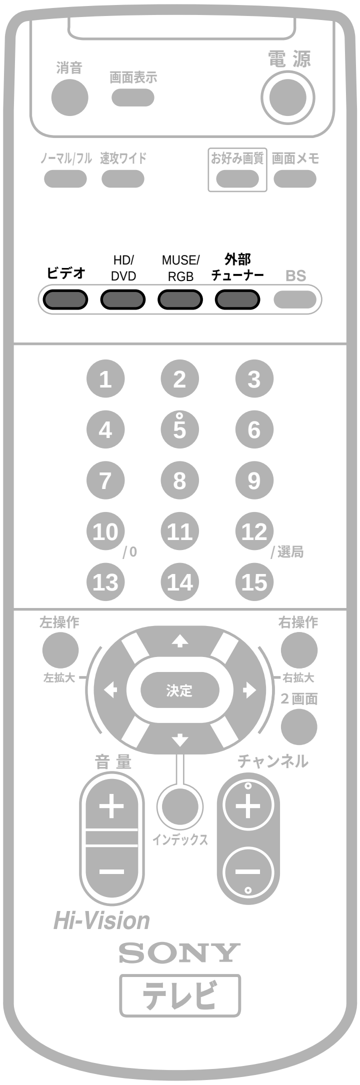
画面メモを見ているときにチャンネル切換、入力切換をすると
自動的に1画面に戻ります。

ハイビジョン放送やMUSE入力のときは
通常のテレビ放送の方式(NTSC) と同じ画質で表示されます。

左の通常画面で放送が終了すると
省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

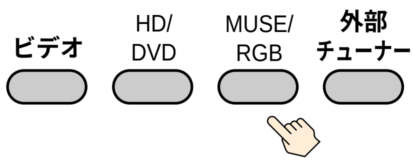
ご注意
- 2画面やインデックス、ストロボを見ているときは、画面メモを見ることはできません。
- RGB入力の映像を見ているときは、画面メモを表示できません。

ビデオなどを見る



入力を切り換えて、ビデオやハイビジョン関連機器、パソコン、CS放送などの映像を見ることができます。

1 見たい入力のボタンを押す。



ボタン	接続端子	接続する機器
ビデオ	ビデオ1～3入力	ビデオ、ゲーム、 DVDプレーヤー（ビデオ出力）など
HD／DVD	HD／DVD1、2入力	ハイビジョンベースバンド機器、 DVDプレーヤー（コンポーネントビデオ出力）、パソコン*、その他RGB出力端子のある機器*など
MUSE／RGB	MUSE1、2入力	ハイビジョンMUSE機器
	PC／RGB入力	パソコン**、その他RGB出力端子のある機器**など
外部チューナー	外部チューナー入力	CSチューナーなど

＊　本機後面のHD／DVD2入力端子にのみ接続できます。同期信号を設定してください (☞57ページ)

＊＊ 同期信号を設定してください。(☞57ページ)

MUSE／RGBボタンを押すと

押すたびに、次のように画面表示が切り換わります。

MUSE1→MUSE2→PC／RGB
（PC／RGBからMUSE1に戻る）

2 接続している機器を操作する。

詳しくは接続している機器の取扱説明書をご覧ください。

CS放送を見るには

CSチューナー、CSデコーダーが必要です。本機後面の外部チューナー入力に接続してください。☞49ページ

テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押してください。

有料の衛星放送を見る

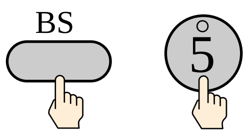


有料の衛星放送を見るには、BSデコーダー☆の接続（☞45ページ）が必要です。

1 **BSデコーダーの電源を入れる。**

2 **チャンネルボタンを押して、チャンネルを選ぶ。**

（例）WOWOWを見るには



独立音声を聞くには

1998年4月現在、独立音声放送☆はBS5チャンネル (St.GIGA) でのみ放送されています。(St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）

1 メニューボタンを押してメニューを出す。

2 選択＋／−ボタンを押して「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して「TV／独立音声」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／−ボタンを押して「独立」を選び、決定ボタンを押す。
スクランブル☆がかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。音声モードの切り換えは、デコーダー側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。2画面のときは、緑色で表示されます。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

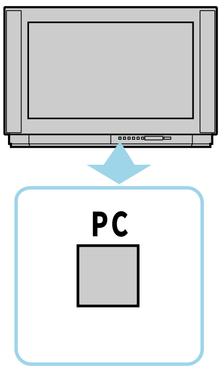
パソコンの映像を見る

本機前面のPC／RGB入力端子や本機後面のHD／DVD2入力端子にパソコンなどをつないで、モニターとして使うことができます。☞56ページ

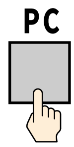
本機前面のPC／RGB入力端子につないでいるとき

あらかじめ、同期信号を設定メニューで設定しておいてください。☞57ページ。

本機前面



1 PC**ボタンを押す。**



テレビがスタンバイ状態のときでも自動的に電源が入り、パソコンなどの映像になります。
もう1度押すと、テレビはスタンバイ状態に戻ります。

2 パソコンを操作する。

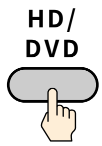
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

本機後面のHD／DVD2入力端子につないでいるとき

あらかじめ、同期信号を設定メニューで設定しておいてください。☞57ページ。



1 HD／DVD**ボタンを押して、**「HD／DVD2」**を選び、パソコンの画像を表示させる。**



2 パソコンを操作する。

詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押してください。

画面モードを選ぶ

パソコンの画面をノーマル、フル、ズームモードに変えることができます。☞8ページ。
選択した画面モードは、パソコンを使い終わった後も、他の画面モードとは別にそのまま本体に記憶されています。

画質を調整する

「画質／音質を調整する」☞24ページ。調整後の画質は、パソコンを使い終わった後も、他の画面モードとは別にそのまま本体に記憶されています。

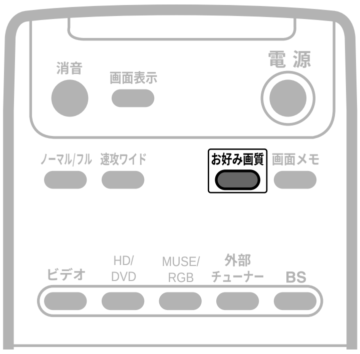
パソコンの画面位置を調整する

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「（画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「画面位置　上下」または「画面位置　左右」を選び、決定ボタンを押す。
選択－ボタンを押し続けると「（画面モード）」の次画面が現われ、「画面位置　上下」、「画面位置　左右」がでてきます。
4 選択＋／－ボタンを押して、画面の位置を調整する。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

パソコンの画面のサイズを調整する

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「（画面モード）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「縦サイズ」または「横サイズ」を選び、決定ボタンを押す。
選択－ボタンを押し続けると「（画面モード）」の次画面が現われれ、「縦サイズ」、「横サイズ」がでてきます。
4 選択＋／－ボタンを押して、画面のサイズを調整する。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

画質／音質を調整する

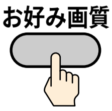




部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質／音質を選ぶことができます。

部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

お好み画質ボタンを押す。



押すたびに、画質／音質は下記の順に変わります。

●ダイナミック　明るい部屋で、明暗のはっきりしたメリハリのある映像を見たいとき

↓

●スタンダード　ふつうの明るさの部屋で、くっきりした映像を見たいとき

↓

●リビング　ご自分で基本的な画質／音質を設定して楽しみたいとき（設定のしかたは、☞25～27ページ）

↓

●AVプロ　ご自分で専門的な画質まで設定して楽しみたいとき（設定のしかたは、☞25～27ページ）

（AVプロからダイナミックに戻ります）

ご注意

- 「ダイナミック」、「スタンダード」での画質／音質は調整できません。
- PC／RGB入力のときは、「AVプロ」しか選べません。

通常、ご家庭でご覧になるときは

「リビング」の「画質調整」、「音質調整」を「標準」にしておくことをおすすめします。

ご注意
PC／RGB入力のときは、「AVプロ」しか選べません。

「リビング」、「AVプロ」の画質／音質設定について
ハイビジョン放送とBSデコーダーの映像を含むBS放送と、通常のテレビ放送は、共通の設定になります。また、これとは別に、ビデオ1～3入力の各々、MUSE1、2入力の各々、HD／DVD1、2入力の各々、PC／RGB入力（「AVプロ」のみ選べます）、外部チューナー入力についても、それぞれ個別に設定できます。

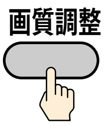
お好みの画質に調整する

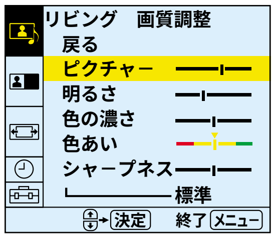
「リビング」と「AVプロ」のときは、画質をお好みに合わせて調整し、記憶させることができます。

1 お好み画質ボタンを押して、「リビング」または「AVプロ」の画面にする。



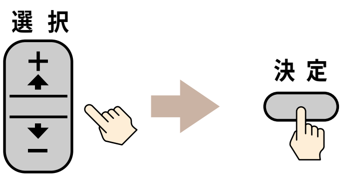
2 画質調整ボタンを押す。





ご注意
- 手順1の操作を行わなくても、画質調整ボタンを押すと画質調整画面に切り換わります。
- このとき、「ダイナミック」または「スタンダード」にしていたときは「リビング」に自動的に切り換わります。

3 選択＋／－ボタンを押して調整する項目を選び、決定ボタンを押す。



操作編

つづく

画質／音質を調整する（つづき）



「NR」（KW-36HDF9のみ）は通常のテレビ放送とBS放送、およびHD/DVD1、2入力（コンポーネントビデオ入力）端子につないだ機器の映像のときは、調整できません

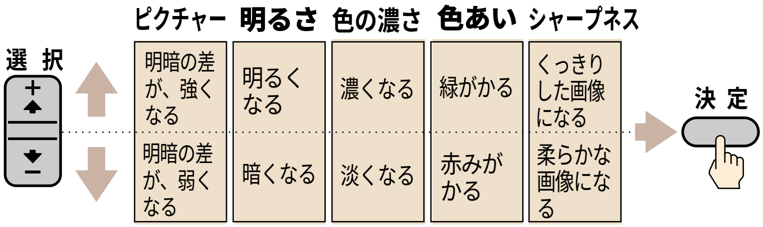
ビデオ1、2、3入力端子と外部チューナー入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できます。

画質／音質を標準（お買い上げ時）の状態にするには

調整項目の一番下にある「標準」を選び決定ボタンを押します。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

4 選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。



「ＡＶプロ」のときのみ、さらに次の項目を調整できます。

項目	説明	選択できる位置
ノイズリダクション NR (KW-36HDF9のみ)	映像のざらつきや色ノイズを軽減します（ゴーストなど電波障害は軽減されません）。 「入」：お買い上げ時の設定。通常は「入」にしておいてください。 「切」：テレビにつないだ機器の元の映像信号（処理していないオリジナル信号）の状態を確認するときなどに選びます。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。	入／切
ベロシティモジュレーション VM (速度変調)	輪郭を強調します。	強／中／弱／切
色温度	「低」を選ぶと、赤みがかった、暖かみのある色調になります。	高／中／低
ハイパー **Hホワイト**	白色の鮮明さを強調します。	入／切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くします。	強／中／弱／切
デジタル・リアリティー・クリエーション RC☆	現行のテレビ放送やビデオなどのNTSC映像を、高精細なリアル4倍密画像につくり換えます。 「強」：デジタル・リアリティー・クリエーションの効果が強くなります。 「弱」：デジタル・リアリティー・クリエーションの効果が少し弱くなります。 「ゲーム」：テレビゲームなどのグラフィック映像に適したモードです。	強／弱／ゲーム

5 手順3と4を繰り返して、他の項目を調整する。

6 画質調整ボタンを押して、メニューを消す。

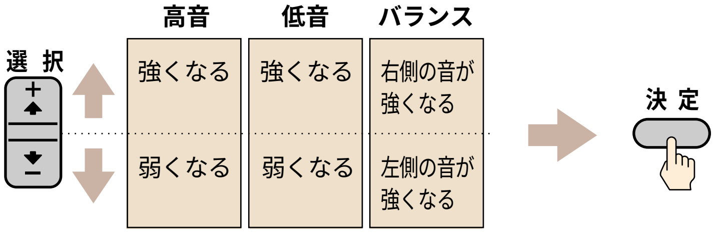
ご注意
「ダイナミック」または「スタンダード」にしているときに音質調整ボタンを押すと、「リビング」に自動的に切り換わります。

ヘッドホンの音質調整はできません
ヘッドホンを使用しているときに音質調整をしても、ヘッドホンの音質を調整することはできません。ヘッドホンを抜いたあとでスピーカーから出る音声が調整されます。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

お好みの音質に調整する

画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、「リビング」、「AVプロ」に記憶させることができます。画質調整ボタンの代わりに、**音質調整ボタン**を押すと、下記の項目が調整できます。



サラウンド☆について

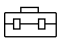
音質調整項目の「サラウンド」は、臨場感のある音声を擬似的に創り出すものです。

選択できる位置	説明	向いている番組
ホールサラウンド 1	コンサートホールでの立体音響が感じとれます。	音楽番組など
ホールサラウンド 2	映像に合った迫力ある音場が感じとれます。	映画番組など
切*	サラウンド音声を切り、通常の音声に戻します。	−

＊ ハイビジョン放送の3-1ステレオなどの特殊な音声を受信しているときは、サラウンドを「切」にすることをお勧めします。

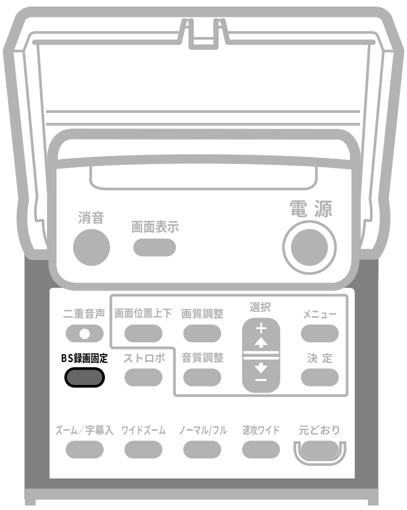
画面を消すには

プロジェクターでテレビの映像を見るときや、独立音声のみを聞くときなどに、テレビ本体の画面のみ消すことができます。

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／−ボタンをおして「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／−ボタンを押して「消画」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／−ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

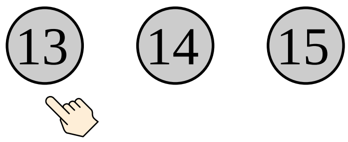
衛星放送を録画する





テレビのBSチューナー☆を使って、衛星放送をビデオに録画することができます。
この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。☞52ページ

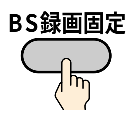
1 録画したい衛星放送の番組をテレビに映す。



BS5チャンネルを録画するときは、BSボタンを押してから、チャンネル数字ボタンの「5」を押してください。

2 BS録画固定ボタンを押す。

BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、他のBSのチャンネルに切り換わらなくなります。



3 ビデオデッキを操作する。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にし、録画を始めてください。
詳しくは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

BS録画固定について

- テレビ（VHF、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を裏録画できます。手順3のあとに、見たい番組や入力を選んでください。
- BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。
- BSの他のチャンネルを見るにはBS録画固定ボタンを再度押してください。BS録画固定が解除されます。

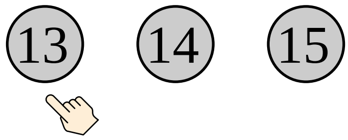
独立音声を録音するには

「（各種切換）」メニューから「TV／独立音声」を選んで「独立」にしてください（☞21ページ）。スクランブル☆放送のときは、デコーダー☆側で独立音声を選んでください。

予約録画する

48時間以内の番組を簡単に予約録画することができます。

1 録画したい衛星放送のチャンネルをテレビに映す。



2 ビデオデッキで録画を予約する。

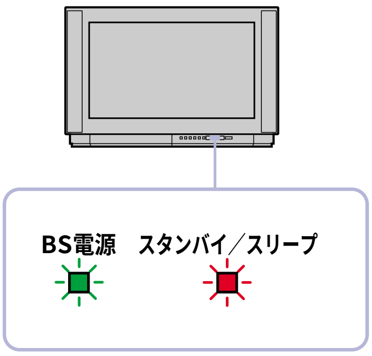
ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（ライン入力）にしてください。

詳しくは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

3 BS録画固定ボタンを押す。



4 リモコンで電源を切る。



BS電源ランプが点灯したままになります。

ご注意

- テレビ本体の電源スイッチでテレビを消したり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- スクランブル☆のかかった放送を録画するときは、デコーダー☆の電源を入れたままにしてください。

BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れた後衛星放送のチャンネルを選び、BS録画固定ボタンを再度押します。

BS録画固定についてのご注意

- BS録画固定の操作は衛星放送のチャンネルを選んでいるときにのみできます。
- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- BS録画固定ボタンを押してから、またはタイマーメニューの「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。
- ハイビジョン放送のチャンネルを録画固定したときは、MUSE1、2入力の映像を見ることはできません。
- ハイビジョン放送以外のBS放送をBS録画固定しているときは、BS／ビデオ出力のS1映像端子からは映像信号は出力されません。

ご注意

ハイビジョン放送を通常のビデオ（VHSや8ミリなど）に録画するときは、本機内蔵のベースバンド方式「M-Nコンバーター」☆をとおして、現行放送方式（NTSC）に変換されるため、ハイビジョン放送本来の画質では録画できません。

ハイビジョン放送を録画するには「ハイビジョンを通常のビデオで高画質に録画するための接続」☞52ページを行ってください。

録画したハイビジョン放送をビデオで再生するときのご注意

本機で見るとき

「オートワイド」を「1」または「2」に設定してください。
☞6ページ

録画時の16：9のワイド画面で見ることができます。

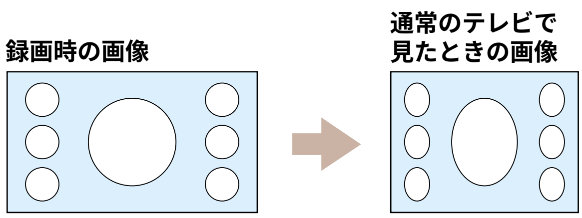
他のワイドテレビで見るとき

ノーマル／フルボタンを押して「フル」にしてください。

録画時の16：9のワイド画面で見ることができます。

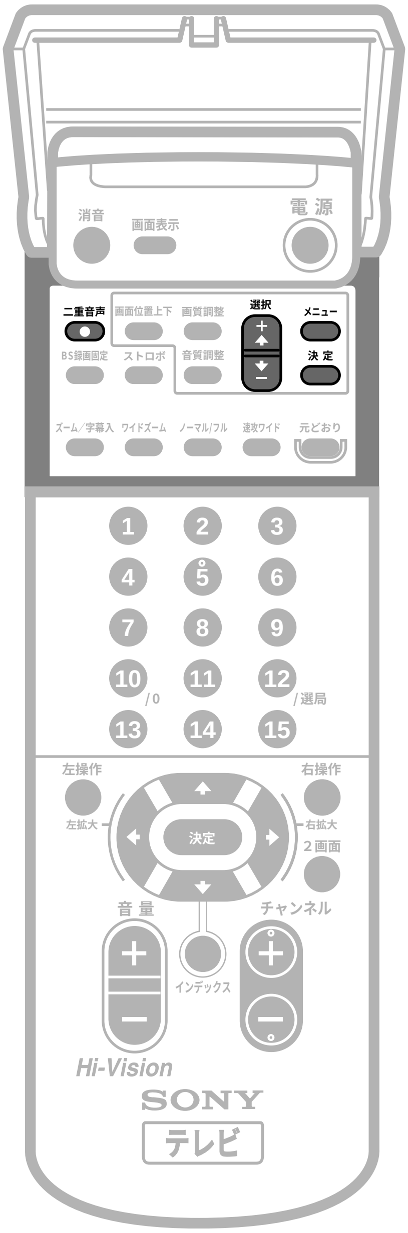
通常のテレビ（4：3画面）で見るとき

下の図のように、16：9のワイド画面を4：3に圧縮した縦長の画像になります。



☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

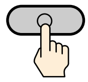
音声を切り換える



二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声＋副音声のいずれかを選ぶことができます。

二重音声ボタンを繰りかえし押して選ぶ。

二重音声





画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
●主	主音声	主音声
●副	副音声	副音声
●主／副	主音声	副音声

ご注意
2画面のときは操作画面の音声が切り換わります。

VHF／UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

1 本体の設定ボタンを押す。

2 選択＋／−ボタンを押して「🔊（音声設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／−ボタンを押して「切」にして決定ボタンを押す。

5 設定ボタンを押す。

「オートステレオ」の入／切は、チャンネルごとに設定できます。設定したいチャンネルを選んでから、上記の操作を行ってください。

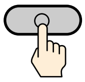
ハイビジョン放送／MUSE☆入力の音声を切り換える

ハイビジョン放送には、多重音声、ステレオ2系統、3chステレオ、4chステレオなどの音声モードがあります。

多重音声モードのとき

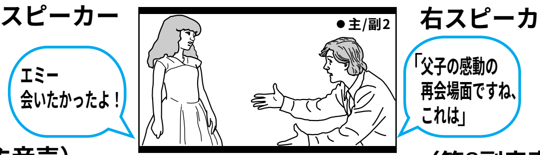
二重音声ボタンを繰り返し押して選ぶ。

二重音声



「●主／副2」を選んだとき

左スピーカー　　右スピーカー



（主音声）　　（第2副音声）

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
●主	主音声	主音声
●副	第1副音声	第1副音声
●副2	第2副音声	第2副音声
●副3	第3副音声	第3副音声
●主／副	主音声	第1副音声
●主／副2	主音声	第2副音声
●主／副3	主音声	第3副音声

ステレオ2系統モードのとき

二重音声ボタンを押すごとに、音声は「主ステレオ」または「副ステレオ」に切り換わります。

4ch（3-1方式）ステレオモードのとき

このモードを受信すると、画面右上に「3-1ステレオ」の表示が出て、自動的に3-1ステレオに固定されます。本格的に4chステレオを楽しむためにはオーディオシステムなどを接続し（☞58ページ）、下記の手順で「MUSE音声モード」を切り換えてください。

1 本体の設定ボタンを押す。

2 選択＋／－ボタンを押して「🔈（音声設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／－ボタンを押して「MUSE音声モード」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／－ボタンを押して「3」を選び、決定ボタンを押す。

5 設定ボタンを押して、メニューを消す。

「MUSE音声モード」を切り換えると、テレビのスピーカー、音声出力（可変／固定）端子から出力される音声は下記のように変わります。ただし、ヘッドホンを使用している時はMUSE音声モードは「1」に固定されます。

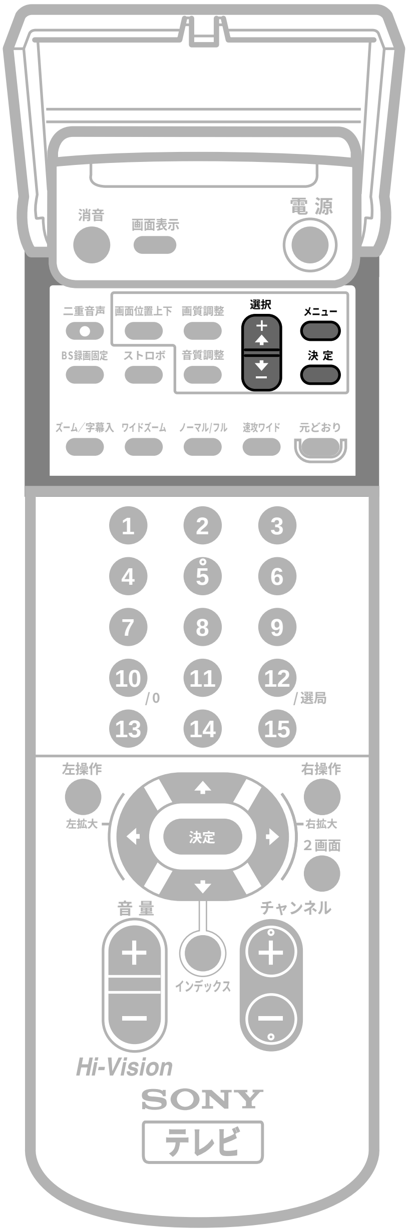
		MUSE音声モード		
		1	2	3
テレビのスピーカー	L	L+C+S	L+C	L
	R	R+C+S	R+C	R
音声出力（可変／固定）端子	L	L+C+S	L+C	L
	R	R+C+S	R+C	R
	C	－	－	C
	S	－	S	S

L：左、R：右、C：センター、S：サラウンド、－：出力なし

ハイビジョン放送
1998年4月現在、BS9チャンネルでは実用化試験局による放送が行われています。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

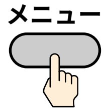
時計を使う



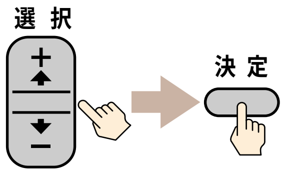
時計を表示する

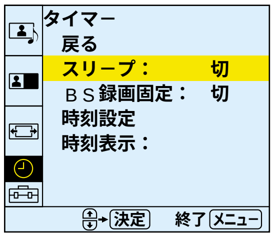
昼の12時は0:00PM、夜の12時は0:00AMと表示されます。

1 **メニューボタンを押す。**

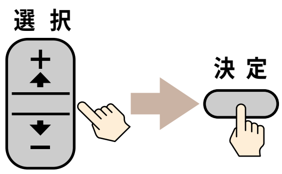


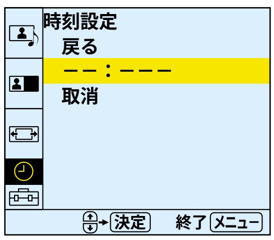
2 **選択＋／−ボタンを押して「(タイマー)」を選び、決定ボタンを押す。**



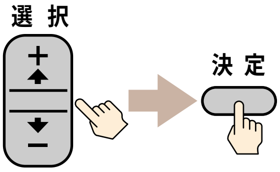


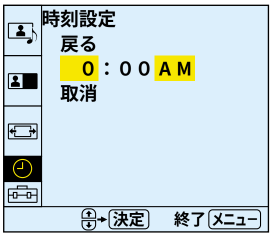
3 **選択＋／−ボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。**





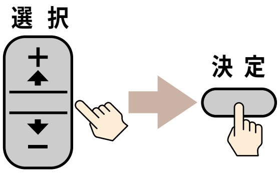
4 ーー：ーーーが選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

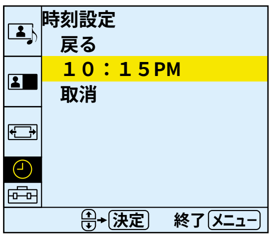




5 時刻を設定する。

時→分の順に設定します。選択＋／ーボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。





6 選択＋／ーボタンを押して「時刻表示」を選び、決定ボタンを押す。

7 選択＋／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

時刻が表示されたままになります。

タイマーで電源を切る

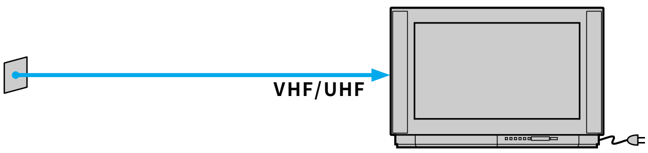
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「（タイマー）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す
4 選択＋／ーボタンを押して、「入」を選び、決定ボタンを押す。本体のスタンバイ／スリープランプが点灯します。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

準備早わかり

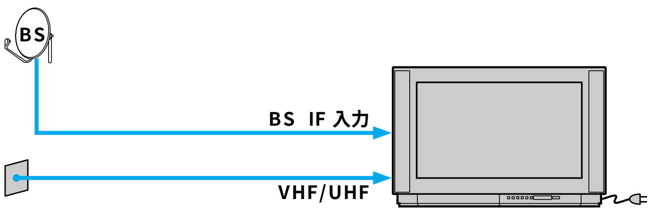
受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

テレビ



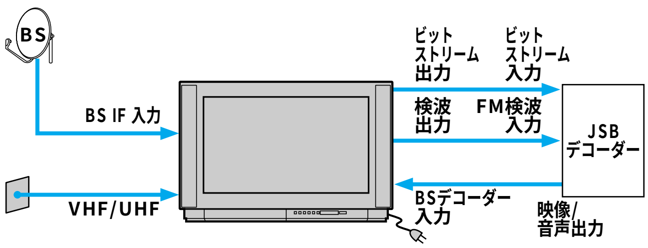
1 テレビアンテナをつなぐ☞36ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞38ページ

テレビ＋BS（ＮＨＫ衛星第1、第2、ハイビジョン放送）



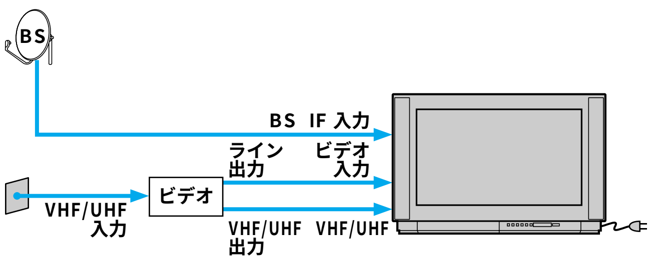
1 テレビアンテナをつなぐ☞36ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞42ページ
3 電源をつなぐ
4 テレビチャンネルを設定する☞38ページ
5 BS受信の設定をする☞43ページ

テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）



1 テレビアンテナをつなぐ☞36ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞42ページ
3 JSBデコーダーをつなぐ☞45ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞38ページ
6 BS受信の設定をする☞43ページ
7 BSデコーダーを設定する☞46ページ

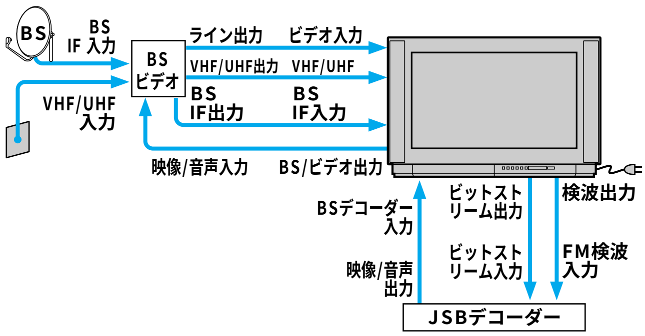
テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2、ハイビジョン放送）＋ビデオ



1 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞36、50ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 BSアンテナをテレビにつなぐ☞42ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞50ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞38ページ
6 BS受信の設定をする☞43ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。☞52ページ

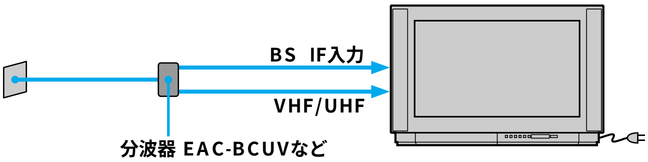
テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）＋BSビデオ



1. テレビ／BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞36、42、50ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2. JSBデコーダーをテレビにつなぐ☞45ページ
3. ビデオデッキをテレビにつなぐ☞50ページ
4. 電源をつなぐ
5. テレビチャンネルを設定する☞38ページ
6. BS受信の設定をする☞43ページ
7. BSデコーダーを設定する☞46ページ

マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。



1. 分波器を使ってテレビ／BSアンテナをつなぐ☞42ページ
2. 電源をつなぐ
3. テレビチャンネルを設定する☞38ページ
4. BS受信の設定をする☞43ページ

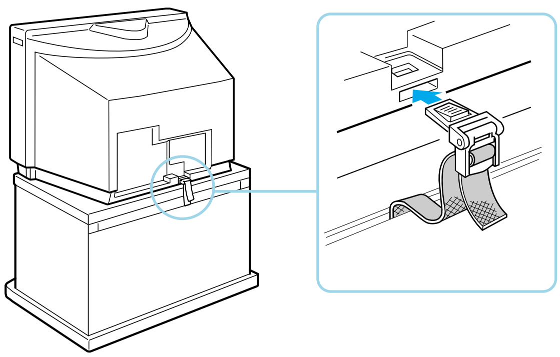
ケーブルテレビの場合

ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビの転倒を防ぐために

お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。

- テレビラック固定ベルト　BLT-R10
- テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド
  KW-32HDF9：SU-F300、SU-32F1、SU-32V
  KW-36HDF9：SU-F300

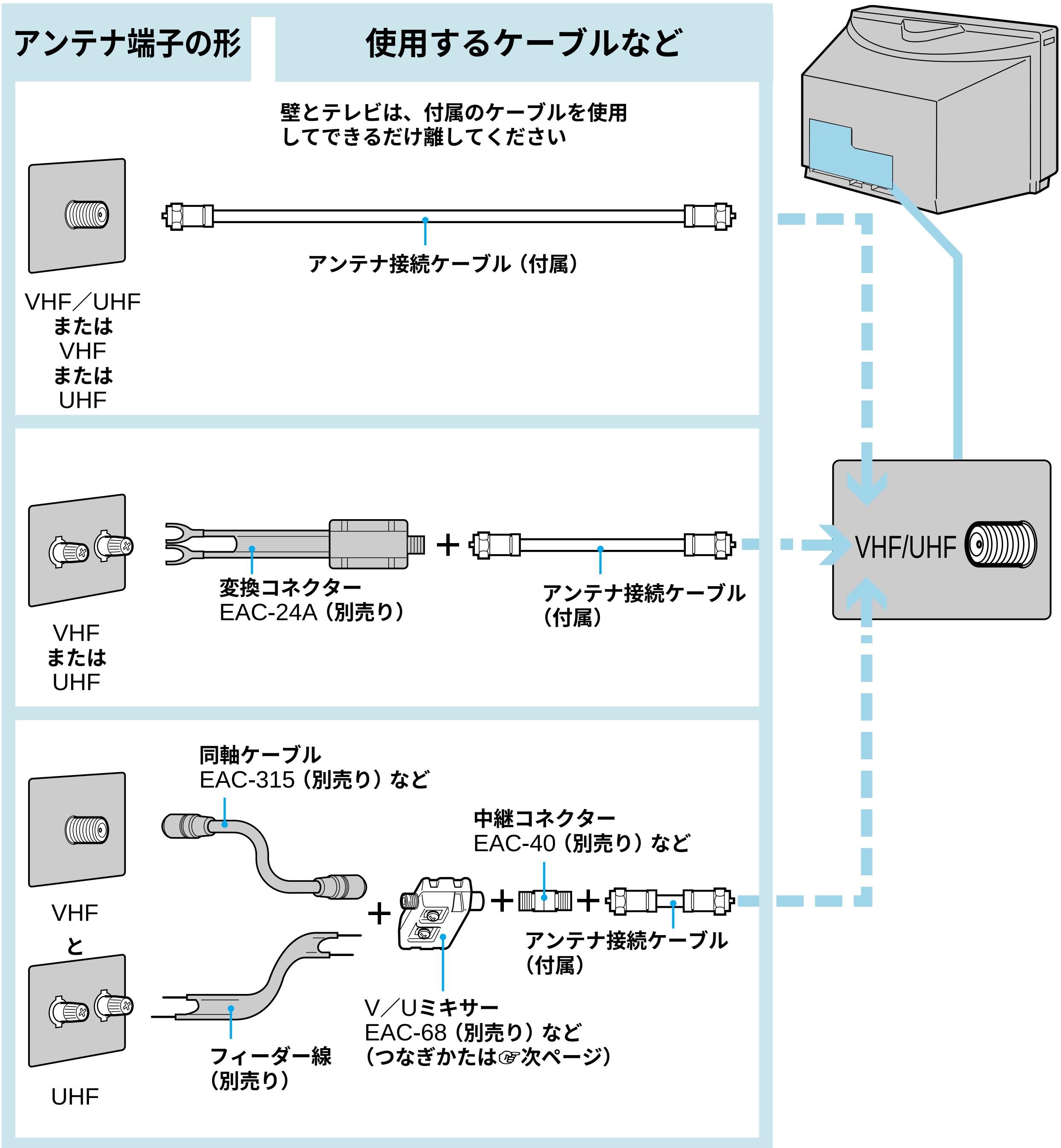


テレビは壁から10cm以上離して設置してください

壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

テレビアンテナをつなぐ

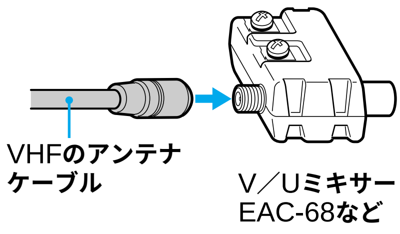
アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
VHF／UHF端子に接続するときは、付属のアンテナ接続ケーブルをお使いください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。



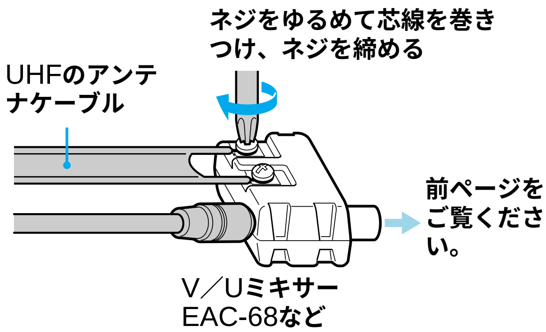
フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。必ず付属の同軸ケーブルをお使いください。
フィーダー線をご使用になる場合はテレビ本体からできるだけ離してください。

V／Uミキサーをつなぐ

1



2



きれいな画像をお楽しみいただくために

このハイビジョンテレビは、たくさんのデジタル回路による新しいテクノロジーが搭載されており、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態が非常に大切です。また、室内アンテナを用いたり、アンテナ線の接続方法によっては受信状態が不安定になり妨害電波を受けやすくなりますので、下記の項目をお読みいただき、アンテナ線の接続と設置を確実に行ってください。

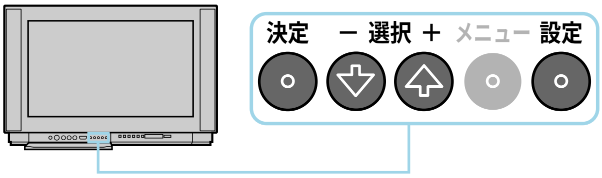
- **本機後面のVHF／UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線／同軸ケーブルのどちらであっても、必ず付属のアンテナ接続ケーブルで行ってください。**
- **アンテナ線の周辺に電源コードやその他の接続コード類を重ねたり、引き回したりしないでください。**
- **室内アンテナはとくに妨害電波を受けやすいので使用しないでください。**

準備編

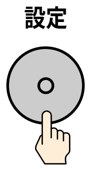
チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF／UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタン（チャンネルポジション）に自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくてもご覧になれます。

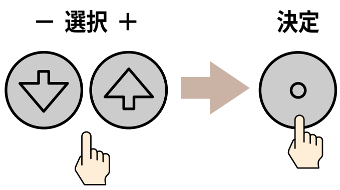
BS5チャンネルを見るときは、BSボタンを押してから、チャンネル数字ボタン「5」を押してください。

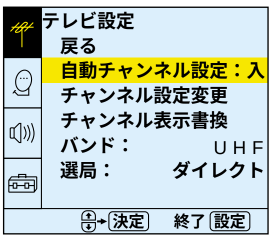


1 設定ボタンを押す。

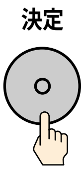


2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。



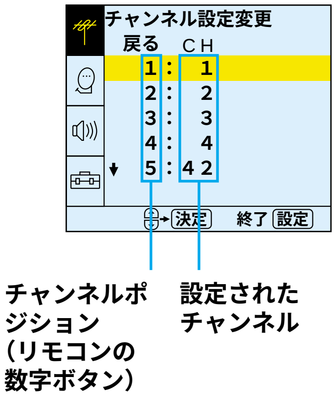


3 「自動チャンネル設定」が選ばれていて、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。



「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。

設定が終わると、下の画面に変わります。

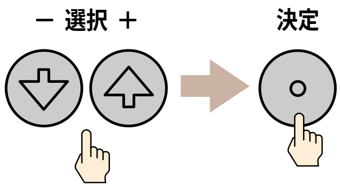


4 設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。

6より大きい番号を確認するには、選択ーボタンを押し続けると、表示されます。

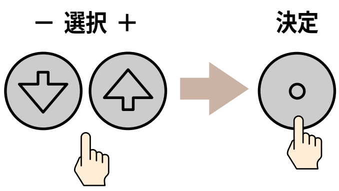
変更するには

1 選択＋／ーボタンを押して変更したい数字（リモコンの数字ボタン）を選び、決定ボタンを押す。



設定されたチャンネルが映ります。

2 選択＋／ーボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



3 手順1と2をくり返して、他のチャンネルを変更する。

5 設定ボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を中断するには
「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

UHFのチャンネル番号について
地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

設定されたチャンネルを変更するには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
5 設定ボタンを押して、メニューを消す。

ケーブルテレビを見るには

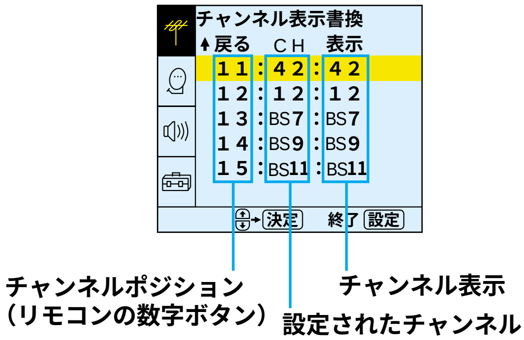
ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。本機では、C13～C35のケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
6 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。ケーブルチャンネルは、表示の前に「C」が付きます。
例：C24
7 設定ボタンを押して、メニューを消す。

ご注意
C36～C62チャンネルは、チャンネル設定および表示が出ますが、受信することはできません。

チャンネル表示を書き換えるには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



4 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
6 設定ボタンを押して、メニューを消す。

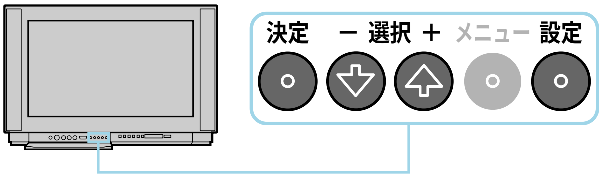
ご注意
複数のチャンネルを一つのチャンネル表示にしたり、一つのチャンネルに複数のチャンネル表示をつけることはできますが、チャンネルと表示が1対1で対応する表示のつけかたをおすすめします。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋／ーボタンを押したときや、チャンネルインデックスをしたときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。

1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
2 選択＋／ーボタンを押して、「CH」を「0」にする。
3 設定ボタンを押して、メニューを消す。

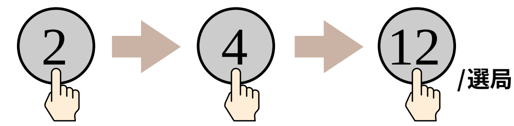
10キー選局にする



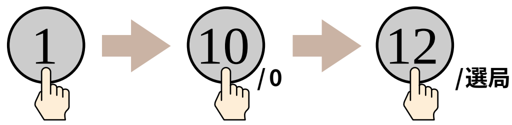
10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

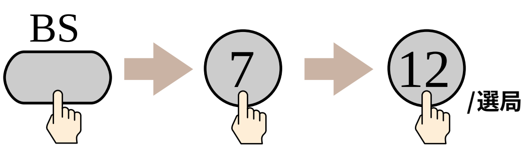
例）24チャンネル



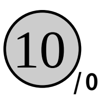
10チャンネル



BS7チャンネル



数字ボタンの10と12は以下の働きになります。



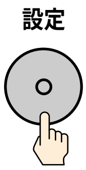
……0を入力する



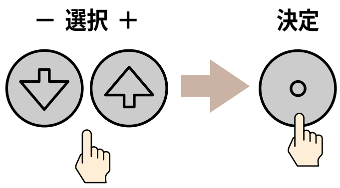
……選局ボタン

10キー選局に切り換える

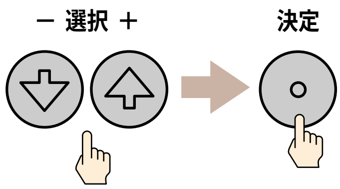
1 **設定ボタンを押す。**



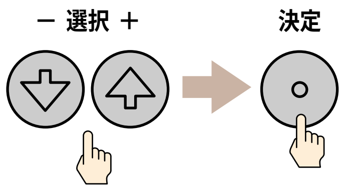
2 **選択＋／−ボタンを押して「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

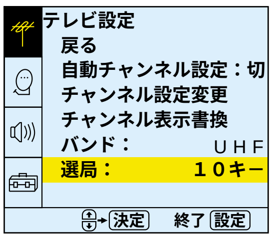


3 **選択＋／−ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **選択＋／−ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**





5 **設定ボタンを押して、メニューを消す。**

ダイレクト選局に戻すには

☞40ページの手順4で「ダイレクト」を選んでください。

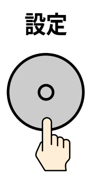
ご注意

- チャンネルを自動設定するとき（☞38ページ）は、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2（☞40ページ）の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
  1. 選択＋／－ボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2. 選択＋／－ボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3. ☞40ページの手順3以降を行う。

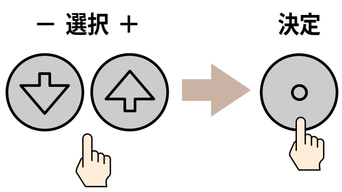
チャンネル＋／－ボタンで選べる局を設定する

お買い上げ時はチャンネル＋／－ボタンで、1～12チャンネルとBS7、BS9、BS11チャンネルを選ぶことができます。
これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送の無いチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

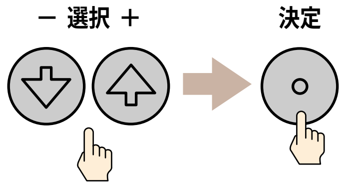
1 **設定ボタンを押す。**



2 **選択＋／－ボタンを押して「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

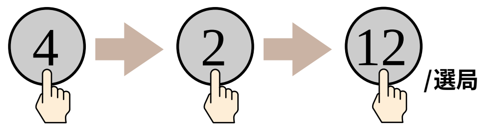


3 **選択＋／－ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

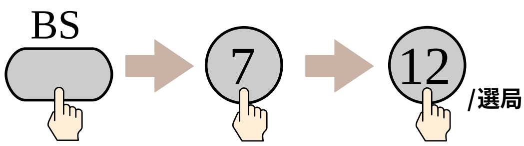


4 **見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。**

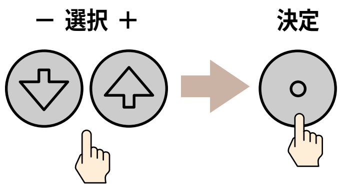
例） 42チャンネルなら



例） BS7チャンネルなら



5 **選択＋／－ボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選ぶ。**



6 **複数のチャンネルを設定する場合は、手順4と5を繰り返す。**

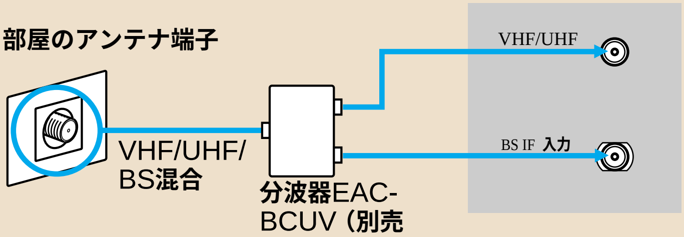
7 **設定ボタンを押して、メニューを消す。**

BSアンテナをつなぐ

●個人で見る場合



●マンションなどの共聴システムの場合

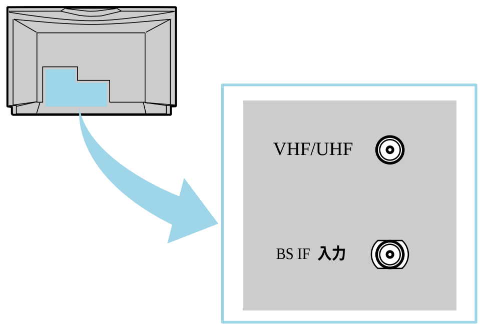


BS受信用の別売り商品

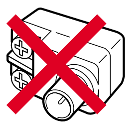
- BSアンテナ
  SAN-37J2
  SAN-37K2SET
  SAN-50HD2
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1（壁面タイプ）
  ANJ-B1（ベランダタイプ）
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10 (10m)
  SAK-C20 (20m)
  SAK-C30 (30m)

アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。 ☞43ページ

●アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります



ご注意
- ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。
- VHF／UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。



ご注意
BSアンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。（工具を使うと、端子をいためることがあります。）

受信状態について
次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
- 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- アンテナに雪が付着しているとき
- 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき（食のとき）
- 強風などで、アンテナの向きが変わったとき
  ☞44ページをご覧の上、アンテナを調整してください。

サテライト分配器についてのご注意
サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。
サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

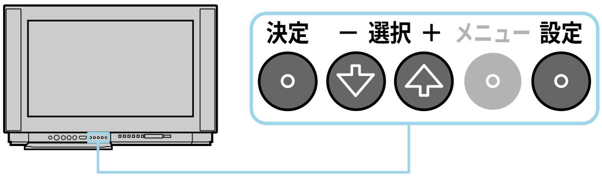
BSコンバータ電源についてのご注意
- BS IF入力端子はDC15Vの直流電圧が出ています。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。
- BS IF入力端子につないだ同軸ケーブルの芯線とコネクター部（周りの金属部分）がショートしないようにご注意ください。

「コンバーター電源を確認してください」という表示が出たら
- マンションなどの共聴システムのときは、メニューの「（BS設定）」で、「BS電源」を「切」にしてから、いったん電源を切ってください。☞43ページ
- BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐに本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

BS受信の設定をする

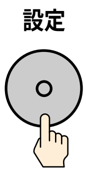
BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「（BS設定）」をしてください。

BS電源を設定する

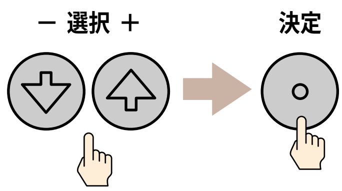


1 **BSのチャンネルにする。**

2 **設定ボタンを押す。**

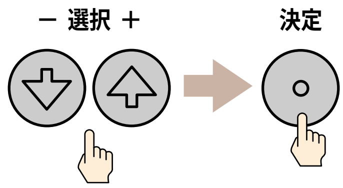


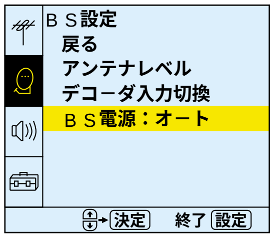
3 **選択＋／－ボタンを押して「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**



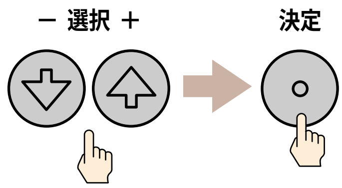
BSのときのみ選択できます。

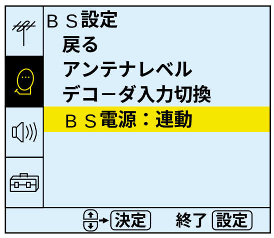
4 **選択＋／－ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。**





5 **選択＋／－ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。**





設定	内容
●オート	テレビがついているときに、テレビが自動的に判断して、BSコンバーターへ電源を供給します。テレビが切れているときは電源を供給しません。
切	BSコンバーターへ電源を供給しません。マンションなどの共聴システムのときに選んでください。
連動	テレビがついているときに、つねに、BSコンバーターへ電源を供給します。テレビが切れているときは電源を供給しません。BSアンテナでBSの映像が映ったり消えたりするときに選んでください。

（●は、お買い上げ時の設定を示します。）

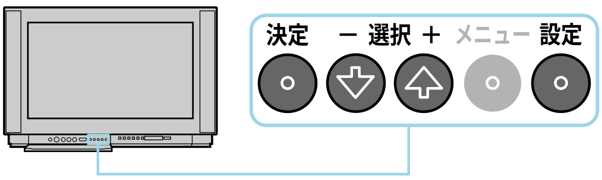
6 **設定ボタンを押して、メニューを消す。**

つづく

準備編

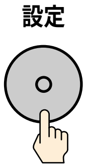
アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。最良の調整ができるように、 テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

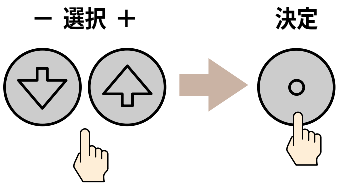


1 **放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。**

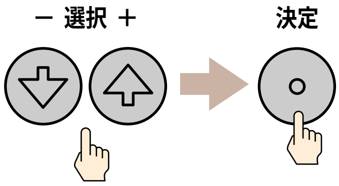
2 **設定ボタンを押す。**



3 **選択＋／−ボタンを押して「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

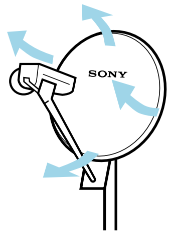


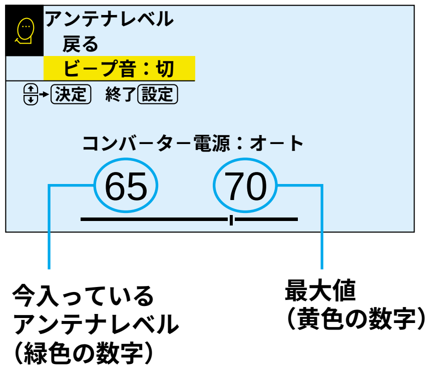
4 **選択＋／−ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **アンテナを調整する。**

アンテナレベル☆の数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。





「コンバーター電源」が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください。☞43ページ

6 **調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。**

音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

1 手順4のあと、選択＋／−ボタンを押して「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。

2 選択＋／−ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

3 手順5で連続した最高音になるようアンテナを調整する。緑色の数値が大きいほど、高音になります。

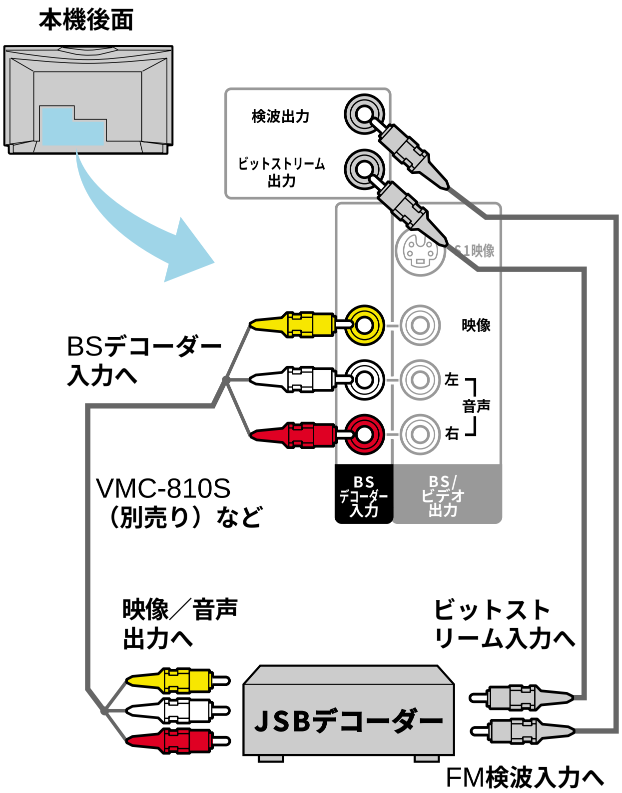
☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

BSデコーダーをつなぐ

有料の衛星放送やハイビジョン放送を見るためには、デコーダー☆をつなぐ必要があります。詳しくはBSの放送会社にお問い合わせください。

JSBデコーダー☆（WOWOW/St.GIGA）

お買い上げ時は、スクランブル☆のかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。（デコーダー入力への自動切り換え機能）



デコーダーのスイッチの設定

BSデコーダーの「検波／映像」切り換えスイッチを「検波」にしてください。

独立音声放送用デコーダーを接続する場合

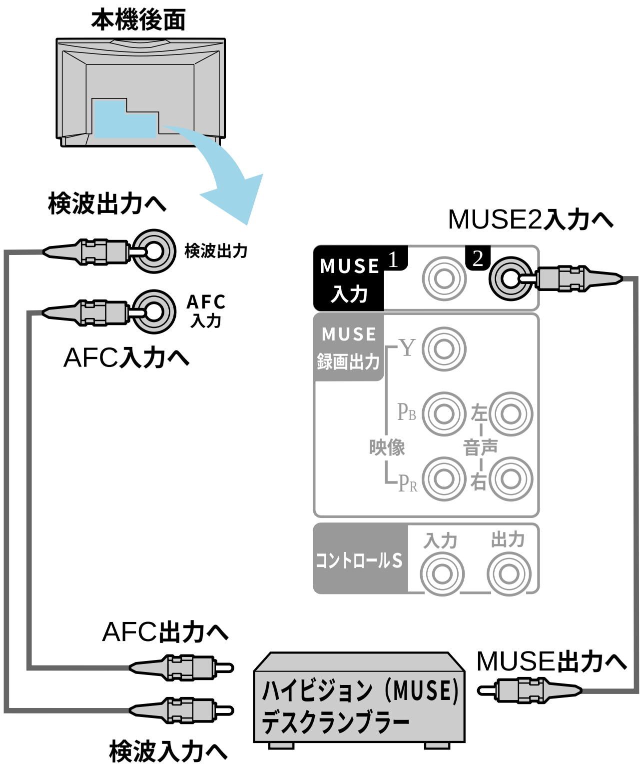
デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

ご注意

BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

ハイビジョン（MUSE☆）デスクランブラーをつなぐ

ハイビジョンの有料放送を見るには、ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーが必要です。



- ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーは、有料のハイビジョン放送に対応するため、将来的に発売が予定されているものです。
- 接続したあとは、「デコーダー入力切換」を設定してください。☞46ページ。
- 上記の接続をして、「デコーダー入力切換」を「MUSE2」または「BSデコーダーオート／MUSE2」に設定している場合は、そのハイビジョン放送のチャンネルはBS録画固定（☞29ページ）することができ、BS／ビデオ出力端子から出力されます。☞53ページ。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

つづく

BSデコーダーをつなぐ（つづき）

デコーダー☆を設定する

ハイビジョン（MUSE）デスクランブラーを接続した場合は、チャンネルごとに使用するデコーダー入力切換を設定してください。
BS（ハイビジョン放送以外）のチャンネルは、お買い上げ時の設定（BSデコーダーオート）のままにしてください。

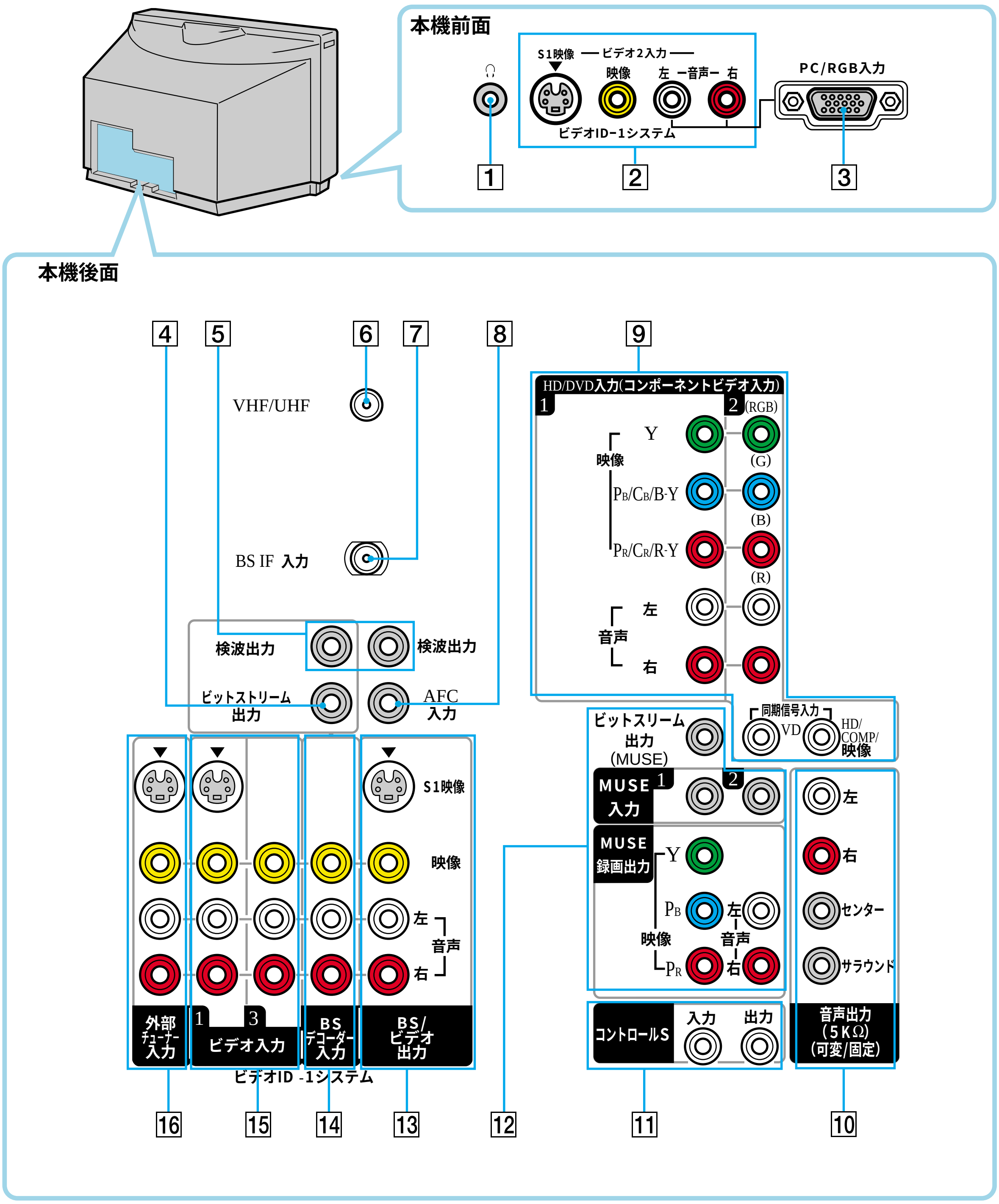
1 BSのチャンネルにする。
2 設定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／－ボタンを押してチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS7～15を設定したいときは、選択－ボタンを押し続けると表示されます。
6 選択＋／－ボタンを押して、下記の設定の中から選び、決定ボタンを押す。

設定	内容
テレビ	受信した映像／音声をそのまま映す
BSデコーダーオート	BSのスクランブル☆を自動判別
MUSE2	MUSE2入力端子からの映像／音声を映す（将来ハイビジョン（MUSE）有料放送が開始されたときのためのモード）
BSデコーダーオート／MUSE2	将来ハイビジョン（MUSE）の有料放送と一般の有料放送が同じチャンネルで開始されたときのためのモード

7 手順5～6を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを1つずつ設定する。
8 設定ボタンを押して、メニューを消す。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

接続端子について



各端子の説明は☞次ページ。

つづく

接続端子について（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子**☞14**ページ**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ビデオ**2**入力（**ID-1☆**）（**S1**映像**☆**／映像／音声）端子**☞56〜57**ページ**
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

3 PC／RGB**入力端子**☞56**ページ**
パソコンや、その他RGB出力端子のある機器などのRGB出力につなぎます。「接続できるパソコンの信号」（☞57ページ）で、信号の種類を確認してください。
また、パソコンからの音声は、ビデオ2入力の音声入力端子につないでください。

4 **ビットストリーム**☆**出力端子**☞45**ページ**
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。また、将来的に考えられている新放送システムに対応するため用意されています。

5 **検波**☆**出力端子**☞45**ページ**
BSデコーダーのFM検波入力端子につなぎます。

6 VHF／UHF**アンテナ端子**☞36、37**ページ**
VHF／UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

7 BS IF**入力端子**☞42**ページ**
BSアンテナからのケーブルをつなぎます。（これ以外のものはつながないでください）この端子から、BSコンバーター用電源（DC15V）を供給することができます。

8 AFC**入力端子**☞45**ページ**
ハイビジョン機器のAFC出力端子とつなぎます。

9 HD／DVD1、2**入力（コンポーネントビデオ入力）端子**☞54、55**ページ**
映像入力端子
ハイビジョン機器やDVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子につなぎます。
Y／P_B／P_Rまたは、Y／C_B／C_R、Y／B–Y／R–Yで入力します。
さらに、HD／DVD2入力端子は、パソコンのRGB出力端子にもつなげます。
音声入力端子
ハイビジョン機器やDVDプレーヤーの音声出力端子につなぎます。
同期信号入力（VD、HD／COMP／**映像）端子（**HD／DVD2**入力端子用）**
VD、HD／コンポジット／映像同期信号を入力できます。
メニューの「（初期設定）」で「同期信号切換」を設定してください。☞57ページ。

10 **音声出力（可変／固定）端子**☞58**ページ**
オーディオ機器をつなぎます。メニューの「（音声切換）」で「音声出力」を「固定」に設定すると、接続したステレオなどで音量を調整できます。
ハイビジョン放送のときは、MUSE音声モードを切り換えて、出力される音声信号を選べます。☞31ページ

11 **コントロール**S**端子**
入力端子
他の機器のコントロールS出力端子につないで、他の機器から本機を操作できます。
出力端子
他の機器のコントロールS入力端子につないで、本機にリモコンを向けて他の機器を操作できます。

12 MUSE☆**端子**
MUSE1、2**入力端子**☞45、54**ページ**
ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー（MUSE）、将来的に考えられている外部チューナー、ハイビジョンデスクランブラー（MUSE）などをつなぎ、MUSE信号を入力する端子です。

MUSE録画出力端子☞54ページ

映像出力端子

Y／PB／PRで出力します。ハイビジョン（ベースバンド）ビデオデッキの映像入力端子につなぎます。

音声出力端子

多重音声放送のときは二重音声ボタンで選択した音声信号が出力されます。

また、ハイビジョン放送のときでセンターおよびサラウンド音声があるときは、常にセンターおよびサラウンド音声が合成された音声が出力されます。

ビットストリーム☆出力（MUSE☆）端子

将来的に考えられているハイビジョン機器（ハイビジョン用の有料デコーダーなど）につなぎます。

13 **BS／ビデオ出力（S1映像☆／映像／音声）端子☞52ページ**

ビデオデッキなどをつなぎます。

VHF／UHF、BS、ビデオ1〜3入力、外部チューナー入力、MUSE1、2入力の信号が出力されます。ハイビジョン放送やMUSE入力のときは通常のテレビ放送の方式（NTSC）と同じ画質で表示されます。

また、デコーダーが接続されているときは、スクランブル☆を解除した信号が出力されます。

ご注意

- BS録画固定（☞29ページ）の状態により、以下の信号を出力します。

  「切」のとき：

  現在テレビに映っている映像と音声を出力します。ただし、本機前面のPC／RGB入力端子および本機後面のHD／DVD1、2入力端子につないだ機器の映像と音声は出力されません。

  「入」のとき：

  現在テレビに映っている映像と音声には関係なく、固定されたBSチャンネルまたはMUSE入力の映像と音声を出力します。ただし、S1映像出力端子からは、ハイビジョン放送以外のBS放送は出力されません。

- 2画面（☞11ページ）のときは、左画面の信号が出力されます。ただし、本機前面のPC／RGB入力端子および本機後面のHD／DVD1、2入力端子につないだ機器の信号は出力されません。BS録画固定が「入」のときは、固定されたBSチャンネルまたはMUSE入力の映像と音声を出力します。
- インデックス（☞16ページ）やストロボ（☞18ページ）のときは、中央の画面（インデックスのときは、インデックス画面を出したときの中央画面）の信号が出力されます。BS録画固定が「入」のときは、固定されたBSチャンネルまたはMUSE入力の映像と音声を出力します。

14 **BSデコーダー☆入力（映像／音声）端子☞45ページ**

BSデコーダーの映像／音声出力端子につなぎます。

15 **ビデオ1、3入力（ID-1☆）（S1映像☆（ビデオ1入力のみ）／映像／音声）端子☞50、55ページ**

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。

つないだ機器からの映像／音声を映すことができます。

16 **外部チューナー入力（S1映像☆／映像／音声）端子☞20ページ**

CSチューナーなどの映像／音声出力端子につなぎます。ビデオ機器などもつなげます。

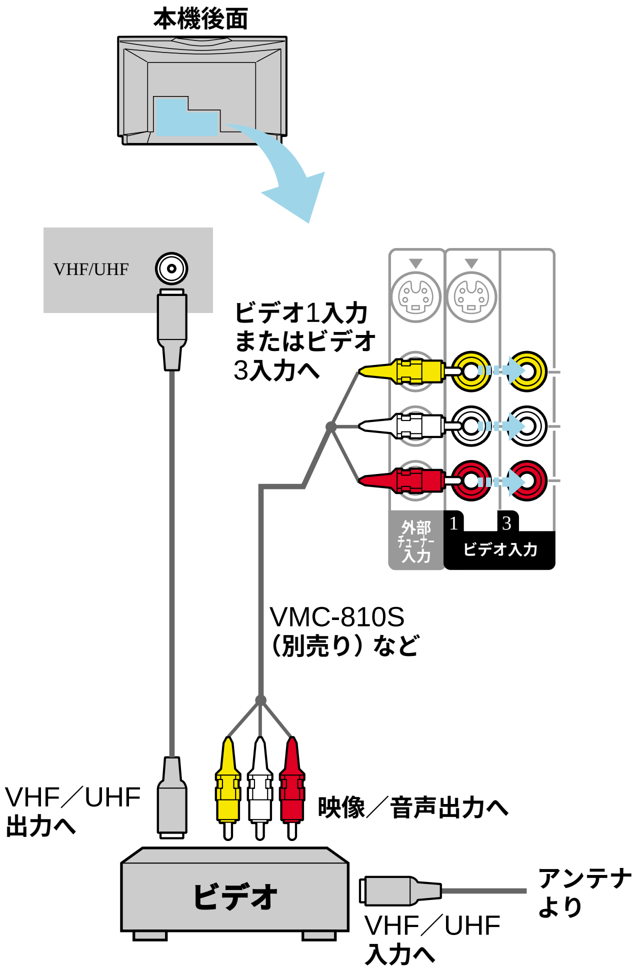
☆のついた用語は用語集ご覧ください。☞67ページ

ビデオデッキをつなぐ

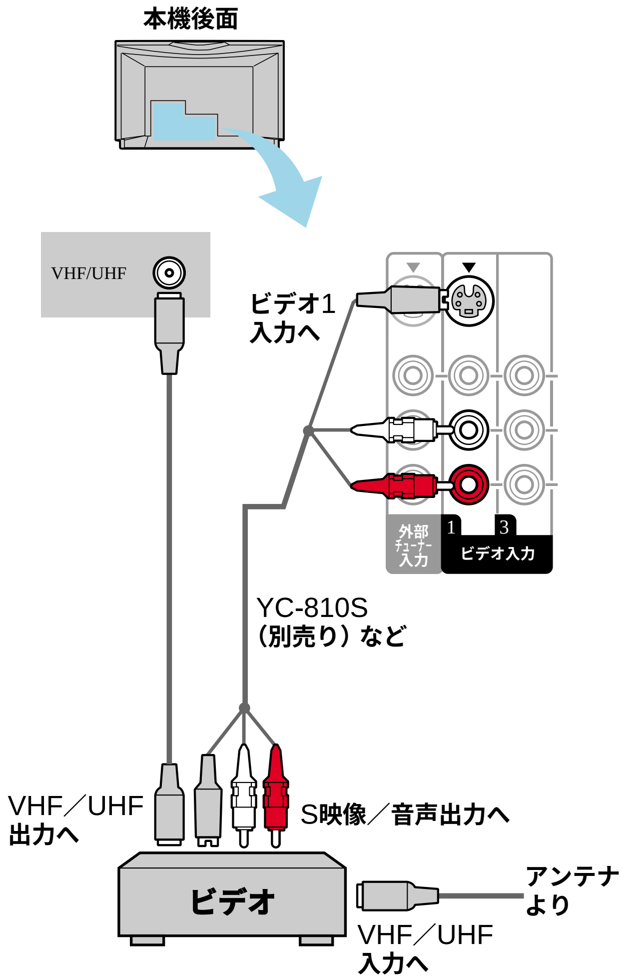
ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」（☞34ページ）およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ



S映像端子付きビデオデッキ



ご注意

本機のBS／ビデオ出力の映像をビデオデッキを通してスルーで本機のビデオ入力で見ると、画像が乱れることがあります。

S1映像☆端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものとがあります。下表を参考にして、よりよい画像でお楽しみください。

接続する機器	おすすめの端子
テレビチューナー BSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ *2 ビデオカメラの再生	S1映像*3
DVDプレーヤー	S1映像*3
ゲーム機	S1映像*3
デジタルCSチューナー	S1映像*3

∗1 三次元Y／C分離回路☆搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。
再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。

∗2 TBC（タイムベースコレクター）内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。

∗3 S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

S1映像☆／映像の切り換え

S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

1. 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
2. メニューボタンを押す。
3. 選択＋／－ボタンを押して「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／－ボタンを押して「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
5. 選択＋／－ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
6. メニューボタンを押して、メニューを消す。

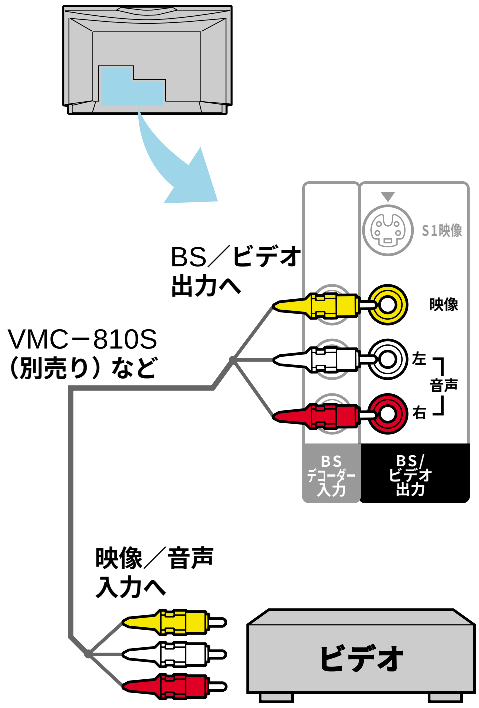
☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

つづく

衛星放送を録画するための接続

テレビのBSチューナー☆を使って、BSを録画する場合は、下のようにつなぎ、必ずBS録画固定（☞29ページ）をしてください。
ハイビジョン放送*を含む衛星放送を録画できます（☞28ページ。）

＊本機内蔵のベースバンド方式「M-Nコンバーター☆」で現行の放送方式（NTSC）に変換された画像です。ハイビジョン本来の画質で録画するには、ハイビジョン・ビデオデッキ（ベースバンド）が必要です。（☞54ページ）



BS放送を録画するときは、BS録画固定をしてください

録画したいBSチャンネルを画面に映した後、BS録画固定ボタンを押します（☞29ページ）。BS／ビデオ出力端子から出る信号が固定されるため、録画ミスを防げます。
テレビ放送やビデオなどを見ながら、BS放送を裏録画するときや予約録画するときは、必ずBS録画固定をしてください。
ただし、 NHK衛星第1、第2、WOWOWなどハイビジョン放送以外のBSチャンネルをBS録画固定すると、BS／ビデオ出力端子のS1映像端子からは、録画固定したBSチャンネルの映像信号は出力されません。

ご注意

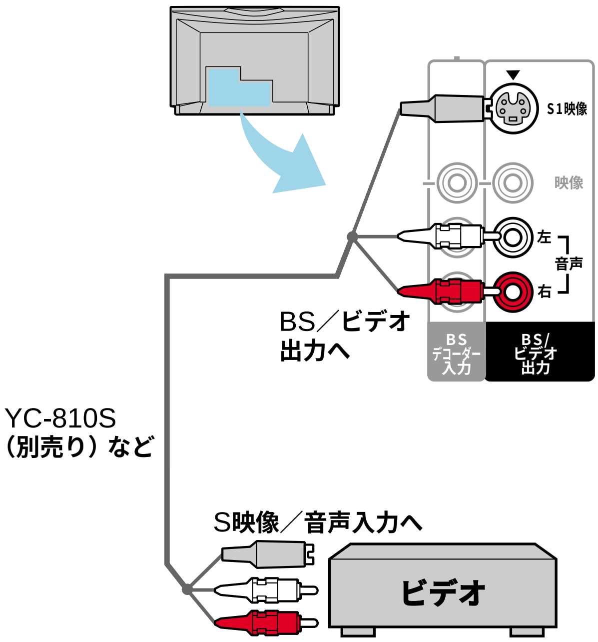
BS録画固定をしないと、ビデオからの出力をテレビのビデオ入力でチェックするときなどテレビでビデオ入力を選ぶと、画像が乱れることがあります。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

ハイビジョンを通常のビデオで高画質に録画するための接続

ハイビジョン放送やハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー（MUSE☆）の信号を、S映像ケーブルを使って、現行の放送方式（NTSC）*に高画質に録画できます。

＊本機内蔵のベースバンド方式「M-Nコンバーター☆」で変換された画像です。ハイビジョン本来の画質で録画するには、ハイビジョン・ビデオデッキ（ベースバンド）が必要です。（☞54ページ）



ビデオデッキの映像入力の設定を「S映像」に切り換えてください。

ハイビジョンを録画するときは、BS録画固定をしてください

ハイビジョン放送またはMUSE1入力の信号を画面に映した後、BS録画固定ボタンを押します（☞29ページ）。BS／ビデオ出力端子から出る信号が固定されるため、録画ミスを防げます。テレビ放送やビデオなどを見ながら、ハイビジョンを裏録画するときや予約録画するときは、必ずBS録画固定をしてください。
ハイビジョン放送をBS録画固定したときは、他のBSチャンネルとMUSE1、2入力の映像を見ることができません。
MUSE1入力の信号をBS録画固定したときは、ハイビジョン放送とMUSE2入力の映像を見ることができません。

MUSE2入力の信号は画面に映しているときのみ録画できます

裏録画はできません。ただし、MUSEデスクランブラーなどをつないでいて、デコーダー設定（☞46ページ）を、「MUSE2」または「BSデコーダーオート／MUSE2」に設定したときは、そのBSチャンネルにBS録画固定できます。

S1映像端子と映像端子の両方をつないでいるときは

ハイビジョン放送またはMUSE1入力の信号*を録画するとき

ハイビジョン放送またはMUSE1入力の信号を画面に映してBS録画固定した後（☞29ページ）、ビデオデッキの「映像入力」の設定を「S映像」にしてください。
高画質で録画できます。ハイビジョンをBS録画固定すると、本機BS／ビデオ出力端子のS1映像☆と映像の両端子から映像信号が出力されるためです。
＊MUSE2入力の信号は裏録画できません。

NHK衛星第1、第2、WOWOWを録画するとき

録画したいBSチャンネルを画面に映してBS録画固定した後（☞29ページ）、ビデオデッキの「映像入力」の設定を「映像」にしてください。
NHK衛星第1、第2、WOWOWをBS録画固定すると、本機BS／ビデオ出力端子の映像端子からのみ映像信号が出力されるためです。S1映像端子からは映像信号は出力されません。

録画したハイビジョン放送をビデオで再生するときのご注意

本機で見るとき

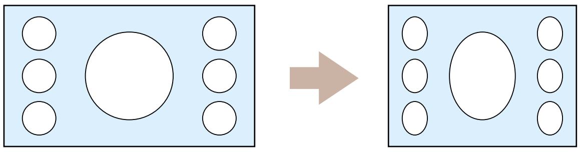
「オートワイド」を「1」または「2」に設定してください。
☞6ページ
録画時の16：9のワイド画面で見ることができます。

他のワイドテレビで見るとき

ノーマル／フルボタンを押して「フル」にしてください。
録画時の16：9のワイド画面で見ることができます。

通常のテレビ（4：3画面）で見るとき

下の図のように、16：9のワイド画面を4：3に圧縮した縦長の画像になります。



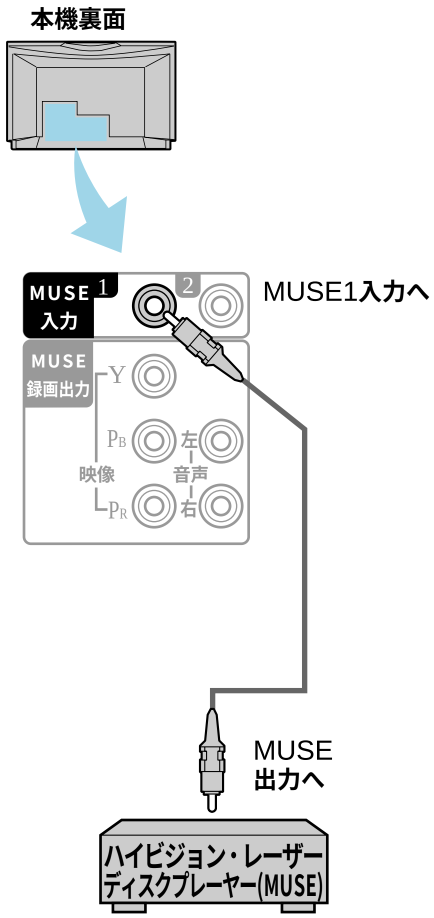
☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

準備編

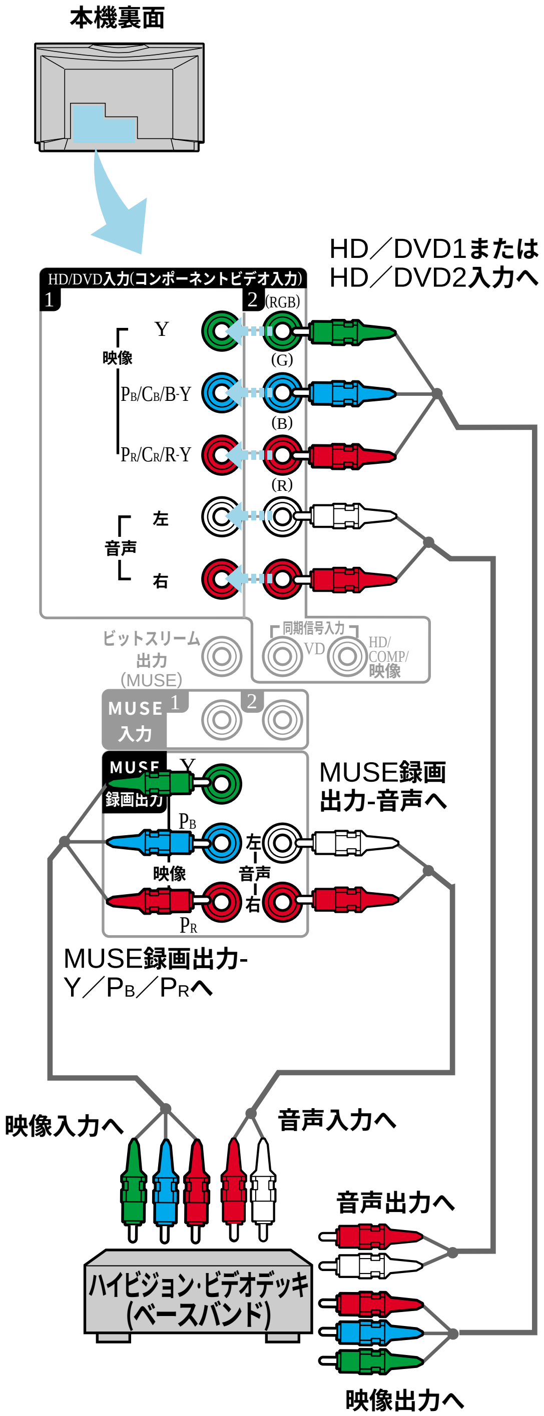
ハイビジョン機器をつなぐ

ハイビジョン本来の高画質で録画／再生するためにはハイビジョン（MUSEまたはベースバンド）機器が必要です。

ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー（MUSE）をつなぐ



ハイビジョン・ビデオデッキ（ベースバンド）をつなぐ

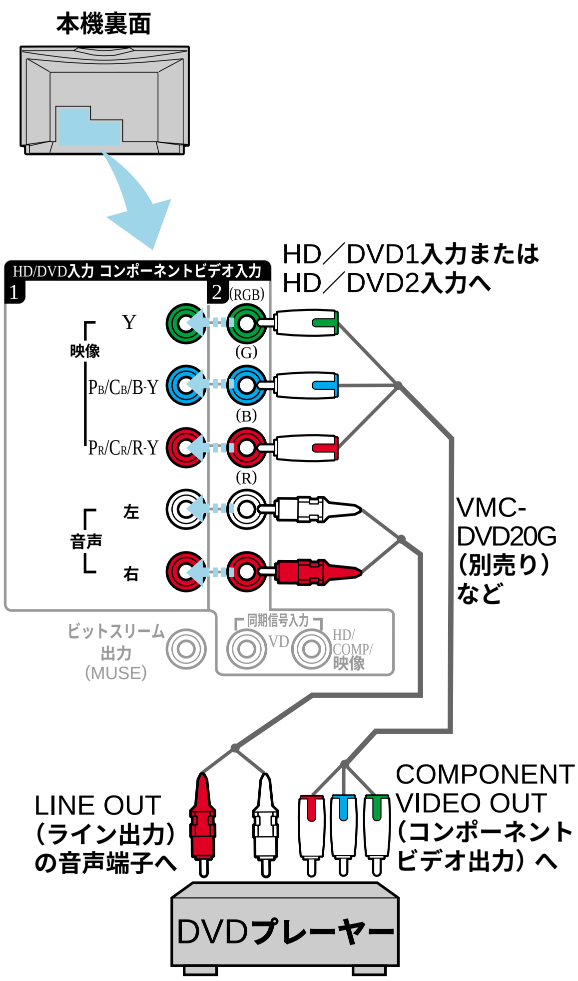


DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子*を持ったDVDプレーヤーとつなぐときは、より高画質の画像をお楽しみいただくために、本機後面のHD／DVD入力端子につなぐことをおすすめします。詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

＊コンポーネントビデオ映像端子は、メーカーにより色や名称が異なります。
- DVDプレーヤーのY端子は、本機のY端子につないでください。
- DVDプレーヤーのP_B、C_B、B-Y端子は、本機のP_B／C_B／B-Y端子につないでください。
- DVDプレーヤーのP_R、C_R、R-Y端子は、本機のP_R／C_R／R-Y端子につないでください。

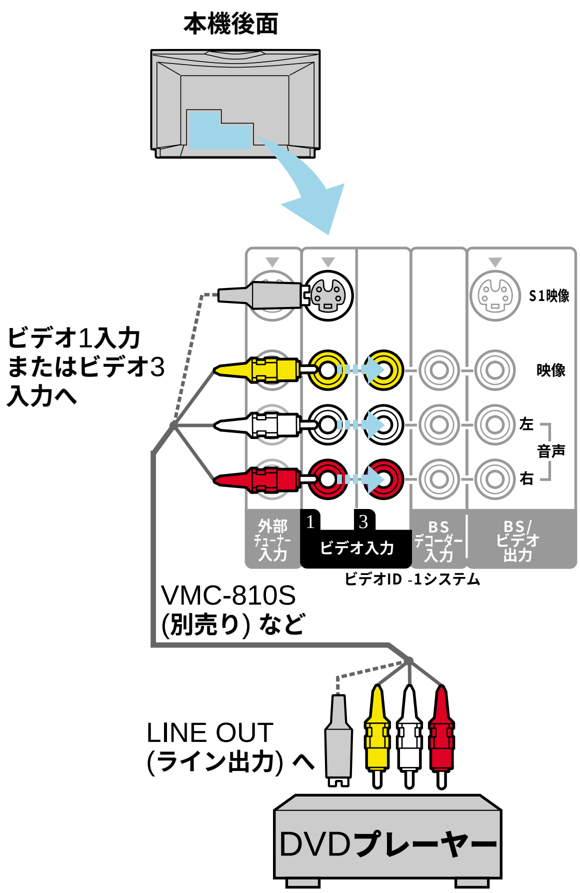
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのとき



ご注意

別売りのVMC-DVD20Gの代わりに、別売りの映像コードVMC-20Gを3本使って、同じ色の端子同士をつないでも、かまいません。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのとき



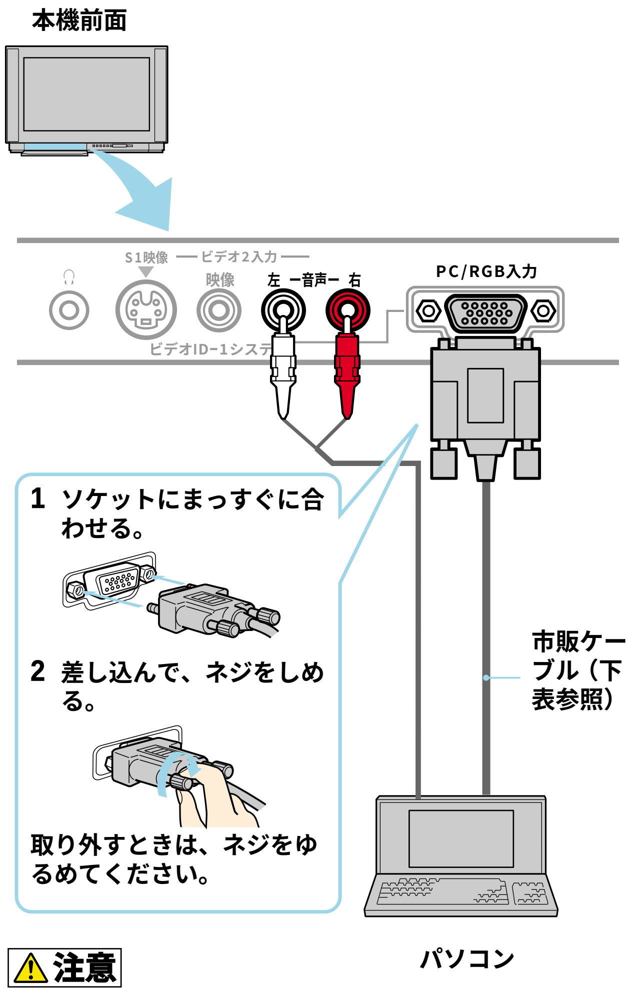
DVDプレーヤーにS映像出力端子が付いているときは、黄色の映像コードの代わりにS映像コード（別売り）を使ってつないでください。より高画質な映像をお楽しみいただけます。

パソコンやゲーム機をつなぐ

パソコンなどをつないだ後、同期信号を設定した後（☞57ページ）、必要に応じて画面位置を調整してください（☞23ページ）。

パソコンなどをつなぐ

本機前面のPC／RGB入力端子につなぐとき



⚠注意

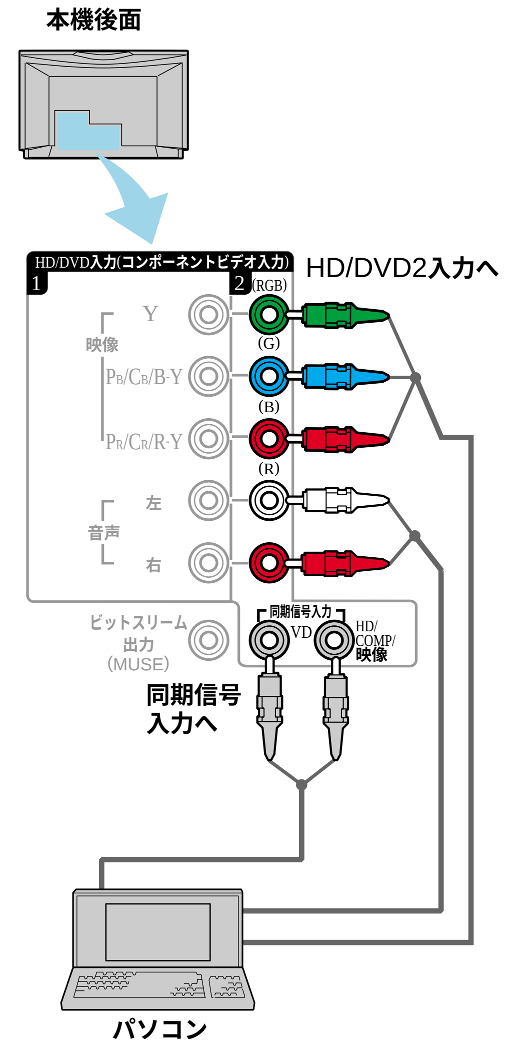
パソコンなどを本機前面のPC／RGB入力端子に接続した場合、コードに足を引っ掛けないように充分ご注意ください。テレビ本体やパソコンの落下や、端子部を破損する恐れがあります。

接続ケーブルについて

パソコンによって接続のしかたが異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンの種類	使用するケーブル／アダプター
DOS／V コンピューター	市販ケーブル （3列15ピンDサブ／3列15ピンDサブ）

本機後面のHD／DVD2入力端子につなぐとき



G信号に含まれている同期信号で動作させるときは、同期信号入力端子への接続は不要です。

ご注意

本機にノートブック型のパソコンなどをつないだときは、パソコンの画像を、本機テレビ画面とパソコン画面（液晶画面など）の両方に、同時に表示できないことがあります。

このとき、テレビ画面にパソコンの画像を表示するには、**パソコン側で、**以下の設定を行ってください。詳しい設定方法については、**必ずパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

1. パソコンで、ディスプレイの解像度を、次ページの「接続できるパソコンの信号」に設定する。
2. パソコンで、画像を外部ディスプレイのみに出力表示できるように、「表示するディスプレイ」の設定を変更する。

接続できるパソコンの信号

パソコンは種類によって信号形式が異なります。下記の信号のパソコンであることを確認してから、接続して下さい。

対応信号	表示（ドット×ライン）	水平周波数	垂直周波数
VGA*グラフィックス	640×480	31.5KHz	60.0Hz
VGAテキスト	640×400	31.5KHz	70.0Hz

*VGAは米国IBM社の登録商標です。

ご注意

- 上記の対応信号以外のパソコンを接続すると、故障の原因となるおそれがありますので、接続しないで下さい。
- パソコンの映像は、画質モードをメニューで「AVプロ」の「標準」値にしてご覧になることをお勧めします（☞25ページ）。

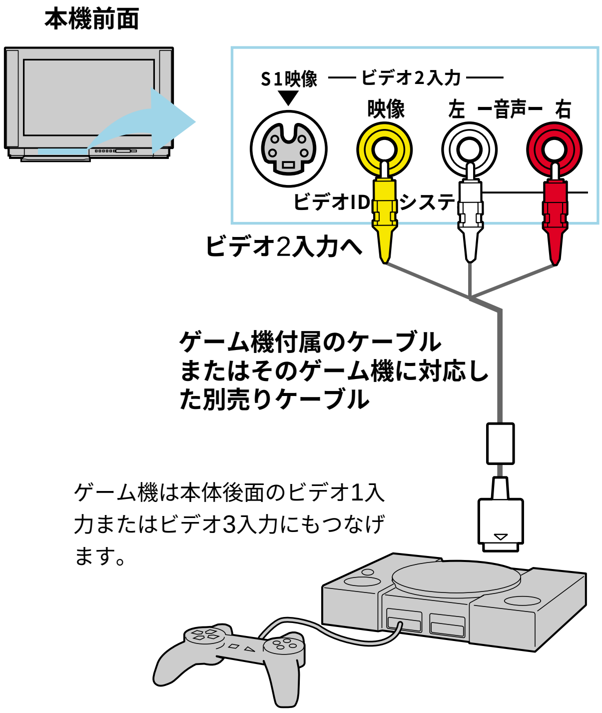
同期信号を設定する

パソコンやRGB出力のある機器（ゲーム機など）をつないだときは、つないだ後に同期信号を設定してください。

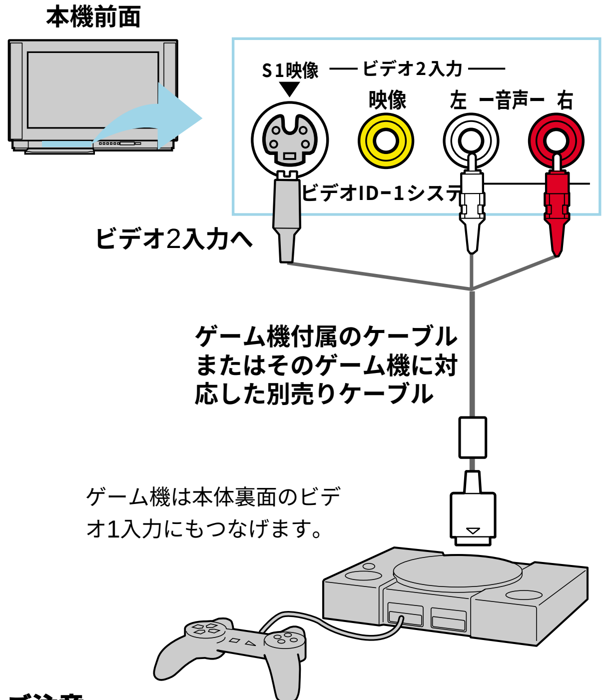
1. 本体の設定ボタンを押す。
2. 選択＋／－ボタンを押して「 （初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／－ボタンを押して「同期信号切換」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／－ボタンを押して「オート」を選び、決定ボタンを押す。
5. 設定ボタンを押して、メニューを消す。

上記の手順で画像が出ないときは、手順4で「オート」の代わりに、「映像」を選んでください。

ゲーム機をつなぐ



S1映像入力端子につなぐには

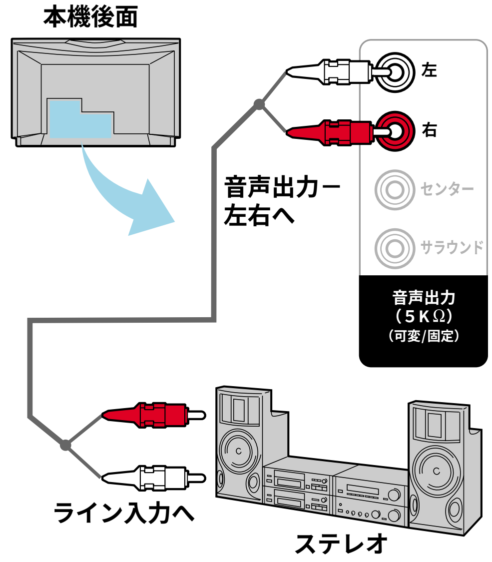


ご注意

- 本機の画面を電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、使用できないゲームがあります。詳しくは、ゲームの取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルについて詳しくは、ゲーム機をお買い上げになったお店にご相談ください。

ステレオシステムをつなぐ

オーディオ機器を接続するには、音声出力（可変／固定）端子を使います。



接続したオーディオ機器で音量を調節するには

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「(音声設定)」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「音声出力」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「固定」を選び、決定ボタンを押す。
5 設定ボタンを押して、メニューを消す。

⚠注意

「音声出力」を「固定」に切り換えるときは、接続するスピーカーの音量を最小にしてから切り換えてください。「固定」になっているときは可変時の最大の音量が出力されます。

テレビのスピーカーの音声を切るには

（ヘッドホンの音声は切れません。）
1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して、「(音声設定)」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して、「スピーカー」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して、「切」を選び、決定ボタンを押す。
5 設定ボタンを押して、メニューを消す。

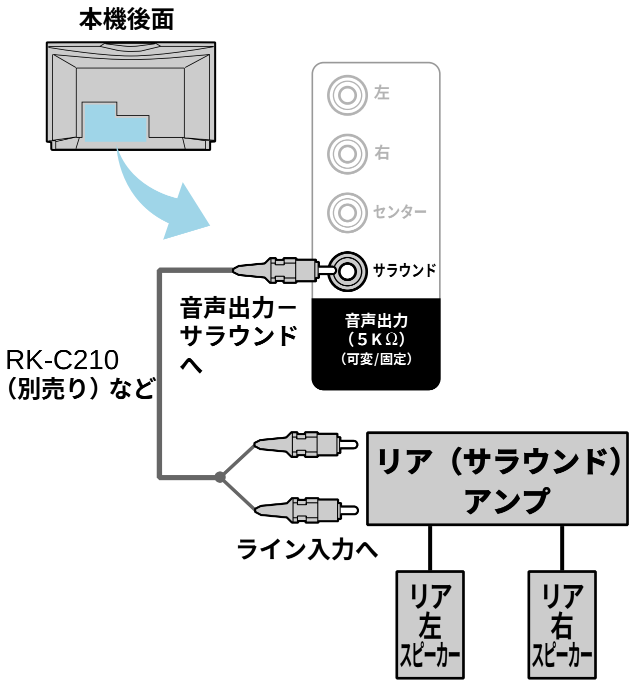
ハイビジョン放送／MUSE☆の4chステレオ（3-1方式）を楽しむには

テレビの内蔵スピーカーのみで聞く

メニューの「(音声設定)」で「MUSE音声モード：1」（お買い上げ時の設定）を選ぶと、センター及びサラウンド（リア）の音声がテレビの左右のスピーカーに合成されて出ます。☞31ページ。テレビ本体だけでハイビジョンの音声を聞くことができます。

テレビの内蔵スピーカーとリア（サラウンド）スピーカーで聞くには

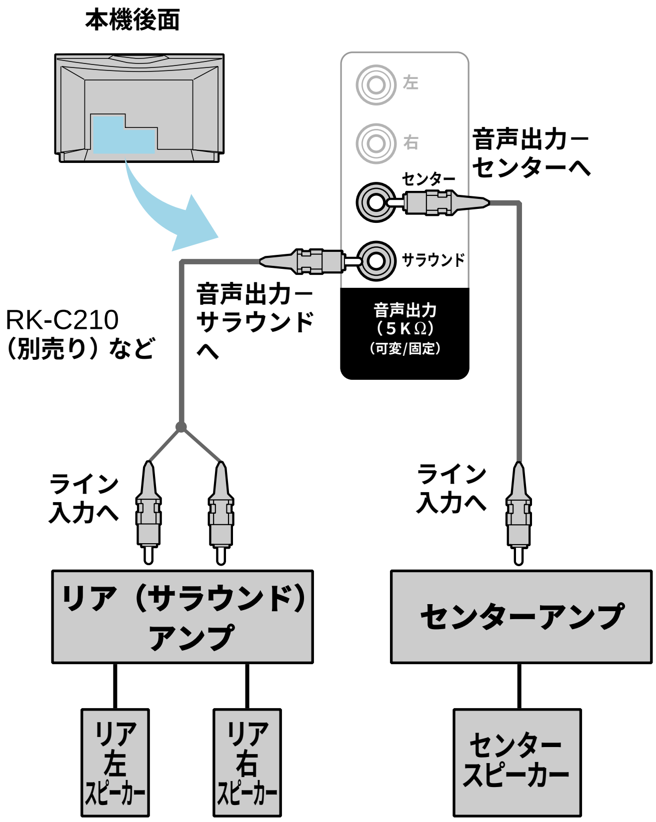
サラウンド効果をお楽しみいただくためには、別売りのリアスピーカーをつなぎ、メニューの「(音声設定)」で「MUSE音声モード：2」を選びます。センター音声はテレビの内蔵スピーカーに合成して出力されます。☞31ページ。
メニューの「(音声設定)」で「音声出力」を「可変」（お買い上げ時の設定）に設定しておくとテレビの音量を調整すると同時にリアスピーカーの音量も調整することができます。設置時にテレビの内蔵スピーカーとのレベル合わせをリアアンプ側のボリューム／アッテネーターで行ってください。



テレビの内蔵スピーカーとセンタースピーカー、リアスピーカーで聞くには

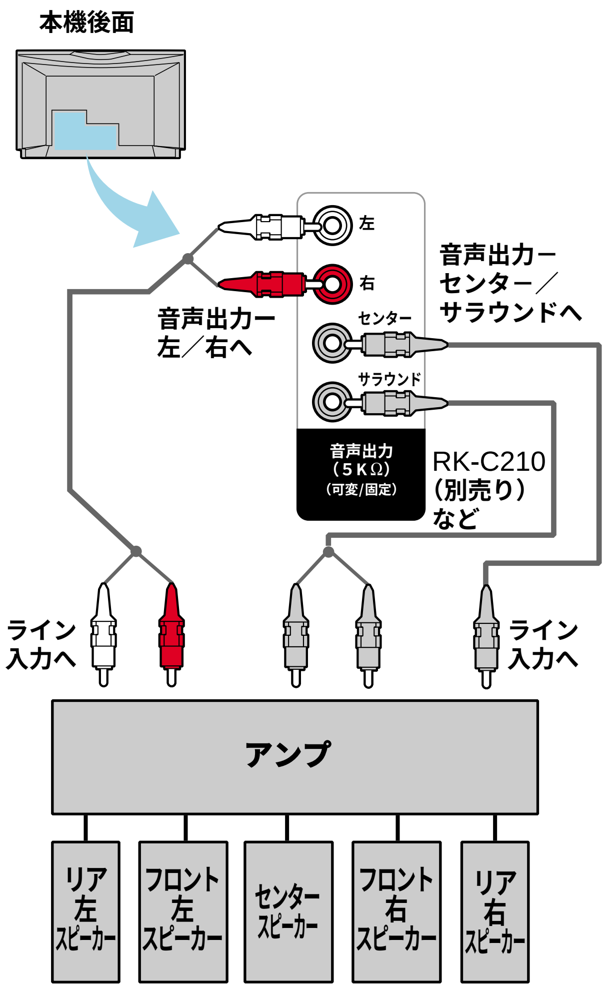
本格的なサラウンド効果をお楽しみいただくためには別売りのセンタースピーカー及びリア（サラウンド☆）スピーカーをつなぎ、メニューで「MUSE音声モード：3」を選びます。☞31ページ。

メニューの「(音声設定)」で「音声出力」を「可変」に設定しておくとテレビの音量を調整すると同時にセンターおよびリアスピーカーの音量も調整することができます。設置時にテレビの内蔵スピーカーとのレベル合わせをセンター、リアアンプ側のボリューム／アッテネーターで行ってください。



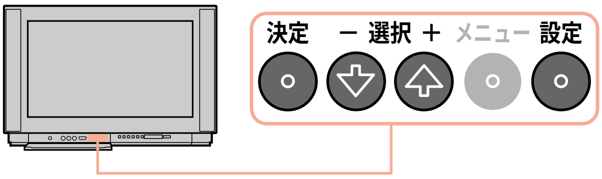
フロント左／右、センター、リア（サラウンド☆）スピーカーで聞くには

さらに臨場感のある音声をお楽しみいただく場合、またはテレビの映像をプロジェクターなどでご覧になる場合には、テレビのスピーカーの音声を切って、外部スピーカーでのみお聞きになることをおすすめします。メニューの「(音声設定)」で「MUSE音声モード：3」（☞31ページ）、及び「スピーカー：切」（☞58ページ）を選んでください。



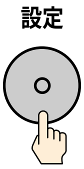
☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

地磁気による画像の傾きを補正する

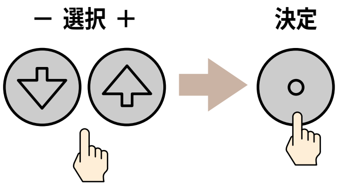


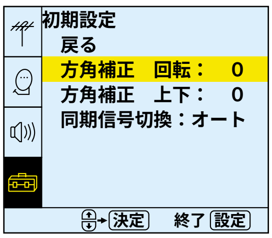
設置後、テレビの向きを決めたら、方角補正をしてください。地磁気の影響がなくなり、よりよい画面をお楽しみいただけます。

1　設定ボタンを押す。

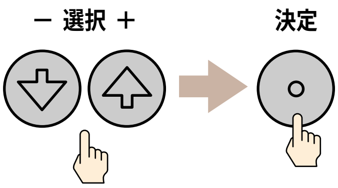


2　選択＋／－ボタンを押して「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



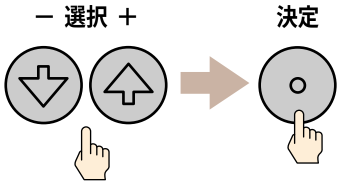


3　選択＋／－ボタンを押して「方角補正　回転」を選び、決定ボタンを押す。



4　選択＋／－ボタンを押して、調整する。

画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。
数値は－10～＋10の範囲で変わります。



5　設定ボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがありますので、お買い上げ店にご相談ください。
- テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

画面位置を上下に補正する

設置時、方向によっては画面の上下位置がずれることがあります。次の方法で補正してください。

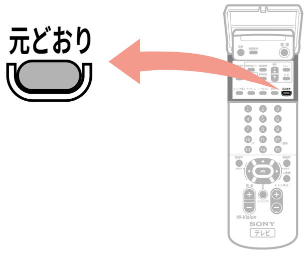
1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「方角補正　上下」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して、画面の上下位置を補正する。
5 設定ボタンを押して、メニューを消す。

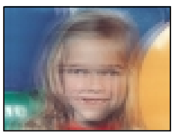
補正された画面の位置は、電源を切っても変わりません。

故障かな？と思ったら

下記の項目の他になんらかの異常がある場合、リモコンの元どおりボタンを押してみてください。右記の項目は、テレビがお買い上げ時の状態に戻ります。お好み画質は「スタンダード」になります。

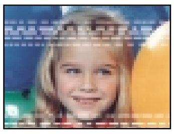
- 二重音声
- 時計表示
- 2画面モードなど



テレビが映らない／またはスタンバイ／スリープランプが点滅している	■ スタンバイ／スリープランプが点滅していたら、☞64ページの「自己診断表示」をご覧ください。 ■ 電源コードが外れていませんか？ ■ テレビ本体の電源は入っていますか？ ■ 信号は入力されていますか？ 信号が入力されていない状態で10分たつと、自動的にスタンバイ状態になります。
テレビの電源が突然切れた（スタンバイモードになった）	■ 省電力のため、放送が終了して約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。 ■ 2画面や画面メモのときは左画面の放送が、インデックス画面やストロボ画面のときは中央画面の放送が終了して、約10分過ぎると自動的にスタンバイモードになります。
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる	■ 最適なワイド画面に自動的に切り換えるため、場面が変わったときなどに画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかることがありますが、故障ではありません。（「オートワイド」が「2」のとき） ■ 識別信号のある画像を受信して、信号に対応した画面モードになるためです。（☞4ページ）（「オートワイド」が「1」または「2」のとき） ■ 手動でワイド画面を切り換えていませんか？（☞8ページ）（「オートワイド」が「1」または「2」のとき）
画像は出るが、音が出ない 	■ 音量が下がりきっていませんか？ ■ 画面に「消音」の表示が出ていませんか？ ■ メニューの「🔊（音声切換）」で「スピーカー：切」になっていませんか？（☞58ページ） ■ ヘッドホンをつないでいませんか？
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	■ お好み画質ボタンを押してください。（☞24ページ） ■ 画質調整ボタンを押して調整してください。（☞25ページ）
画面の一部に色むらがある	**テレビの近くから地磁気を乱すものを遠ざける** ■ テレビをマンションの鉄骨や金属スタンドなどから離して設置してください。 ■ ビデオやスピーカーなどをテレビから離して設置してください。 **テレビの向きを変えたときに発生するときは** ■ 地磁気の影響によるものです。一度電源を切り、約30分後に、ご覧になる向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、軽減されます。また、地磁気補正も併せて行ってください。（☞60ページ）
画像が二重、三重になる 	■ アンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ■ アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■ 突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく 	■ アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■ アンテナの寿命ではありませんか？通常3～5年、海辺では1～2年です。 ■ アンテナ線がはずれていませんか？

つづく

故障かな？と思ったら（つづき）

斑点や点模様が走る 	■ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。
画像が傾く	■本体の設定ボタンで「（初期設定）」の「方角補正　回転」を選び調整してください。（☞60ページ）
特定のチャンネルだけが映らない	■チャンネルを合わせ直してみてください。（☞39ページ）
雑音または縞状のノイズが多い	■フィーダー線を使って、テレビアンテナをつないでいませんか？（☞36ページ） ■テレビを壁から離して設置してください。壁の中の配線がフィーダー線になっているときは、ノイズが軽減されます。（☞36ページ） ■本体の設定ボタンで「（音声設定）」の「オートステレオ」を「切」にしてください。（☞30ページ）
ビデオの再生／録画時に縦縞状のノイズが出る	■ビデオヘッドが干渉するためです。できるだけビデオをテレビから離して設置してください。
リモコンで操作できない	■電池が消耗していませんか？ ■電池が逆向きに入っていませんか？ ■本体の赤いスタンバイ／スリープランプが点灯していますか？　ついていないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ■リモコン受光部との距離が離れすぎたり、角度が大きすぎませんか？ ■リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっていませんか？離して設置してください。
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	**ダイレクト選局の場合（☞40ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？ **10キー選局の場合（☞40ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？ ■11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ■最後に続けて⑫／選局を押しましたか？（スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。） **その他** ■リモコンの電池が消耗していませんか？
キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	■周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。
電源を入れたときにブーンという音がする	■地磁気などの影響を取り除くために動作させる消磁回路の動作音です。故障ではありません。
暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える	■ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする	■テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。

BS（衛星放送）が映らない／乱れている	**BSアンテナを直接つないでいる場合** ■ メニューの「（BS設定）」で「BS電源」が「オート」または「連動」になっていますか？（☞43ページ） ■ BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ ■ アンテナの大きさは適切ですか？ ■ アンテナの前方に障害物はありませんか？ ■ アンテナの方向・角度を調整しましたか？（☞44ページ） **BSアンテナに分配器を使っている場合** ■ コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ **マンションなどの共聴システムの場合** ■ メニューの「（BS設定）」で「BS電源」が「オート」または「切」になっていますか？（☞43ページ） ■ VHF／UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？（☞42ページ） ■ ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **その他** ■ 放送時間を確認してください。 ■ 雨や雪が降ると悪くなることがあります。 ■ BS専用のケーブルを使っていますか？（☞42ページ） ■ アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？ ■ メニューの「（BS設定）」で「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？（☞46ページ）
BS（衛星放送）の画像は出るが音が出ない	■ スクランブル☆放送ではありませんか？
BS（衛星放送）のチャンネルが切り換わらない	■ BS録画固定をしていませんか？（☞29ページ）
メニュー画面で項目を選べない／暗く灰色に表示されている項目がある	■ 見ている映像の種類やメニュー画面で設定した状況によって、選べないように制約されているためです。メニュー画面で、暗く灰色に表示されている項目は、選べません。
「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら	■ マンションなどの共聴システムのときは、メニューの「（BS設定）」で「BS電源」を「切」にしてから、いったん電源を切ってください。（☞43ページ） ■ BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ビデオを再生したとき画像が出ない	■ S映像入力なのに、メニューの「（各種切換）」で「S映像：切」にしていませんか？（☞51ページ）
パソコンの映像が乱れる	■ パソコンの信号は本機の対応信号でしょうか？（☞57ページ）
パソコンの映像が欠ける	■ メニューの「（画面モード）」や「（初期設定）」で、画面の表示範囲や位置を調整できます。設定値をご確認下さい。 （画面モード）：「画面位置左右」「画面位置上下」「縦サイズ」「横サイズ」（☞23ページ） （初期設定）：「方角補正回転」「方角補正上下」（☞60ページ）

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

その他

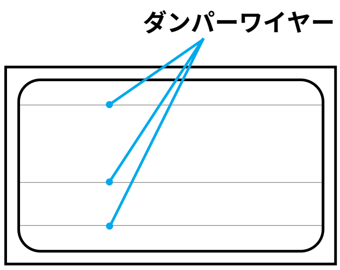
つづく

故障かな？と思ったら（つづき）

パソコン映像の色がおかしい・にじむ	■HD／DVD2入力のときは、メニューの「(画質／音質)」で「ピクチャー」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色合い」、「シャープネス」を調整できます。「AVプロ」のときは、さらに「VM」、「色温度」、「Hホワイト」、「黒補正」、「RC」も調整できます。（☞25ページ） ■PC／RGB入力のときは、メニューの「(画質／音質)」で「RC」を除く「AVプロ」のすべての項目を調整できます。（☞25ページ）
パソコン映像の縦の線が曲がる	■メニューの「(画質／音質)」の「画質調整」で調整項目の一番下にある「標準」を選んでください。（☞25ページ）
パソコンの映像が映らない	■正しく接続されていますか？ ■ケーブルまたはアダプターは正しいものを使っていますか？
パソコン映像で波模様や点状の模様（モアレ）が出る	■パソコン信号の解像度、ブラウン管のピッチ、またはいくつかの画像パターンのドットピッチ間の関係によっては、モアレが出ることがあります。
つないだスピーカーから音が出ない	■メニューの「(音声設定)」の「MUSE音声モード」を正しく選択していますか？（☞31ページ）
つないだ機器の画像、音が出ない	■接続コードが外れていませんか？ ■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。
スタンバイ／スリープランプが点滅していたら	■点滅の回数を数えて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。（☞64ページ）

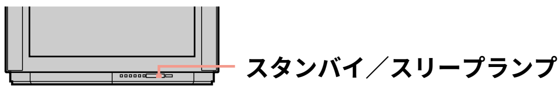
ダンパーワイヤーについて

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがありますが、故障ではありません。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は右図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパーチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。



自己診断表示 －画面が消え、スタンバイ／スリープランプが点滅したら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ／スリープランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ／スリープランプが点滅したら、右の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



1. スタンバイ／スリープランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2. テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

➡お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

➡保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

➡修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KW-32HDF9, KW-36HDF9
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ブラウン管表面のお手入れについて

本機のブラウン管表面には特殊な処理が施されています。そのため、ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナーまたは、研摩剤の入っていない中性洗剤を水で薄めて、柔らかい布に含ませて、拭き取ってください。
表面を傷つけることがあるため、固い布の使用やから拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も、使わないでください。

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式、MUSE方式 1125/60高精細度テレビジョン方式
受信チャンネル	VHF 1～12チャンネル UHF 13～62チャンネル CATV C13～C35 BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*	KW-32HDF9：FDトリニトロン102度偏向32型 KW-36HDF9：FDトリニトロン102度偏向36型

＊テレビの型（32型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法	KW-32HDF9：66.2×37.3、76cm対角 KW-36HDF9：75.1×42.2、86.1cm対角 （幅×高さ、対角径）
使用スピーカー	ウーファー10cm×2、 ミッドハイレンジスピーカー （5×9cm楕円）×2
音声出力	音声実用最大出力（EIAJ準拠） ミッドハイレンジスピーカー 7W×2 (1kHz, 10%, 8Ω) ウーファー 7W×2 (100Hz, 10%, 8Ω)

入出力端子

アンテナ端子	VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター （コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
音声出力端子	ピンジャック、4チャンネル 0～500mVrms 出力インピーダンス 4.7kΩ以下 • 上記は、テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送、MUSE入力の最大出力 –12dB時の数値です。 • センターおよびサラウンド出力端子は3-1方式ステレオモード時でMUSE音声モードが「3」に設定されているときのみ出力します。
ビデオ1、2、3入力端子	S1映像（ビデオ1、2入力端子のみ）： 4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ
外部チューナー入力端子	S1映像：4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力 500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
BS／ビデオ出力端子	S1映像：4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms インピーダンス 4.7kΩ以下 テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送、MUSE入力の最大出力 –12dB時の数値です。
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス16Ω以上
検波出力端子	ピンジャック×2、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力 500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AFC入力端子	ピンジャック、75Ω
MUSE録画出力端子	映像：ピンジャックY：1Vp-p（3値同期付） P_B／P_R：±350mVp-p 3値同期：±300mVp-p 出力インピーダンス 75Ω 音声：出力ピンジャック、2チャンネル、 最大出力レベル2Vrms 出力インピーダンス 4.7kΩ以下 AFC：0.5Vp-p インピーダンス 75Ω ビットストリーム： ピンジャック、0.5Vp-p 出力インピーダンス 75Ω
MUSE1、2入力端子	0.4Vp-p（FM） 入力インピーダンス 75Ω
HD／DVD1入力端子	映像：ピンジャック Y：1Vp-p（0.3V負同期付き） P_B／P_R、C_B／C_R、B–Y／R–Y： ±350mVp-p 入力インピーダンス 75Ω 音声：入力ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms（最大入力 –12dB） 入力インピーダンス 47kΩ以上
HD／DVD2入力端子	映像：ピンジャック **外部同期信号がない場合** Y：1Vp-p（0.3V負同期付き） P_B／P_R、C_B／C_R、B–Y／R–Y： ±350mVp-p 入力インピーダンス 75Ω **外部同期信号がある場合** G／B／R：700mVp-p 入力インピーダンス 75Ω 外部同期信号： **「オート」設定時** HD／COMP：0.6～5Vp-p VD：0.6～5Vp-p 入力インピーダンス 2.2kΩ（正負両極性） **「映像」設定時** 映像同期：2Vp-p（0.6V負同期付き） 入力インピーダンス 2.2kΩ （1Vp-p、75Ω（0.3V負同期付き）の入力に相当） 音声：入力ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms（最大入力 –12dB） 入力インピーダンス 47kΩ以上
PC／RGB入力端子	D-SUB、3列、15ピン G／B／R：700mVp-p、75Ω 外部同期信号： **「オート」設定時** （HD：13ピン、VD：14ピン） HD：0.6～5Vp-p VD：0.6～5Vp-p 入力インピーダンス 2.2kΩ（正負両極性） **「映像」設定時**（映像同期：13ピン） 映像同期：2Vp-p（0.6V負同期付き） 入力インピーダンス 2.2kΩ （1Vp-p、75Ω（0.3V負同期付き）の入力に相当） 音声：入力ピンジャック、2チャンネル 500mVrms（最大入力 –12dB） 入力インピーダンス 47kΩ以上
コントロールS入出力端子	ミニジャック

電源部・その他

消費電力	KW-32HDF9：218W（リモコン待機時2.6W） KW-36HDF9：232W（リモコン待機時2.6W）
年間消費電力量**	KW-32HDF9：338kW•h/年 KW-36HDF9：344kW•h/年

＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4～5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法	KW-32HDF9：87.4×56.3×57.2cm KW-36HDF9：95.8×61.3×59.2cm （幅×高さ×奥行き）
質量	KW-32HDF9：約68.3kg KW-36HDF9：約87.8kg
電源	AC100V、50/60Hz
付属品	リモートコマンダー　RM-J211（1） 乾電池　単3形（1） アンテナ接続ケーブル（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 安全のために（1） 安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド	KW-32HDF9：SU-F300、SU-32F1、SU-32V KW-36HDF9：SU-F300
ステレオヘッドホン	MDR-AV55
テレビラック固定ベルト	BLT-R10
BSアンテナなど接続ケーブルなど	

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

アンテナレベル
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

検波
衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

サラウンド
臨場感のある音声を疑似的に創り出す機能です。
劇場やコンサートホールでは、直接聞こえてくる音（直接音）と、その音が壁などで反射して少し遅れて届く音（間接音）が混ざり合って聞こえてきます。サラウンドはこれを応用したもので、わずかに遅らせた音声信号を混ぜ合わせることで臨場感を出します。

三次元Y／C分離回路
本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

スクランブル
映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

チューナー
電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。
本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デコーダー
スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

デジタル・リアリティー・クリエーション（RC）
現行のテレビ放送やビデオなどのNTSC映像を、独自のデジタル信号アルゴリズムによって、垂直と水平の両方向ともに画像の密度を2倍ずつ（計4倍）につくり換え、高精細なリアル4倍密画像にします。

独立音声放送
BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

ハイビジョン実用化試験放送
1998年4月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。

ビスタサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

ビットストリーム
衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

ベースバンド方式「MUSE-NTSCコンバーター」
ハイビジョン放送やMUSE方式のハイビジョン用機器（ビデオデッキやレーザーディスク）の信号をを現行放送方式（NTSC）に変換します。従来のMUSE-NTSCコンバーターより、高画質に変換します。
本機はベースバンド方式「M-Nコンバーター」を内蔵しています。

偏波
衛星放送の電波の流れの型です。
BSは円偏波です。

数字・アルファベット順

Aモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が放送されることがあります。
サンプリング周波数：32kHz
量子化：14/10ビット　準瞬時圧伸方式

Bモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われています。
サンプリング周波数：48kHz
量子化：16ビット　直線量子化

DOS／Vコンピューター
VGAのビデオボードを備えたIBM PC系のパソコン。日本語表示をできるようにしたDisk Operating Systemを採用したパソコンの名称です。

FDトリニトロン管
従来のトリニトロン管に比べて、垂直方向に加え、水平方向にもフラットになった新しいトリニトロン管です。画像や文字情報を、画面の中央から画面の端まで、ゆがみのより少ない自然な映像でお楽しみいただけます。

ID-1方式（ビデオID-1システム）
ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより画面の横縦比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。
ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～3入力端子（ビデオID-1システム対応端子）につなぐと、ID-1方式の映像となります。ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

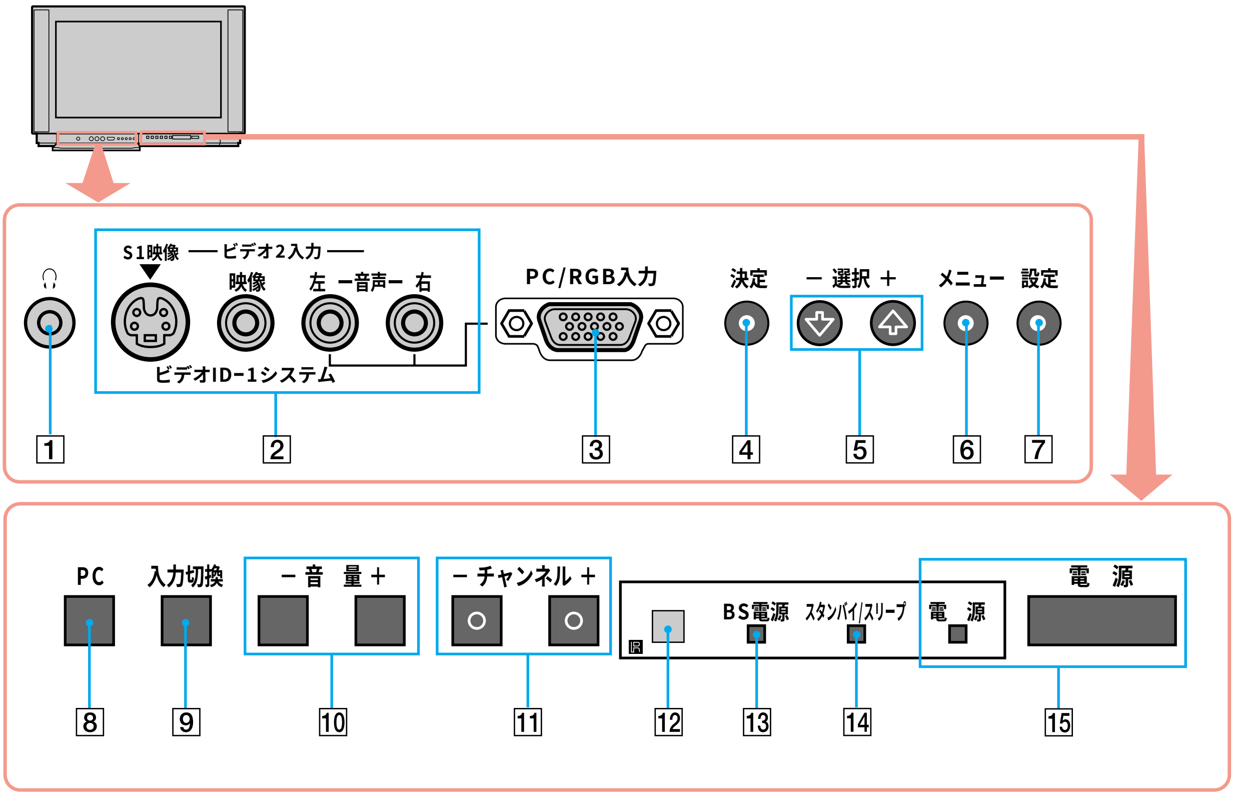
MUSE
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

S-1方式（S1映像）
S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の横縦比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。
S-1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、前面パネルのビデオ2入力端子など、本機のS1映像入力端子にS映像ケーブルを使ってつなぐと、S-1方式の映像となります。
ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

VGA
VGAは米国IBM社の登録商標です。同IBM社で採用されたグラフィックス機構でアナログRGBと640×480ドットの解像度を持ち、最大256色を同時発色できます。DOS／Vを利用するには、VGAのビデオ回路が必要となります。

各部の名前／Identification of controls

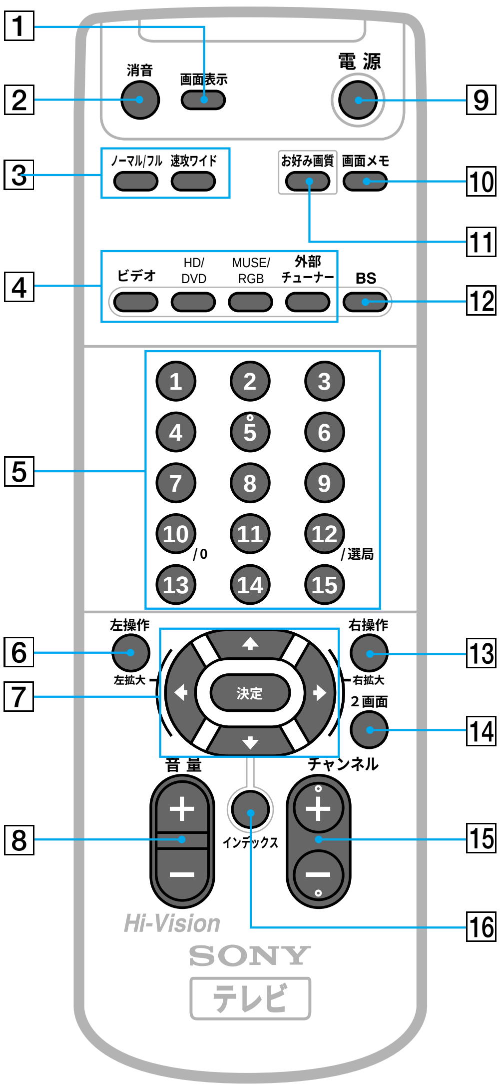
本機前面／TV Front Panel



1 ヘッドホン端子☞14ページ
2 ビデオ2入力端子☞56～57ページ
S1映像端子
映像端子
音声（左）端子
音声（右）端子
3 PC／RGB入力端子☞56ページ
4 決定ボタン☞38ページ
5 選択＋／ーボタン☞38ページ
6 メニューボタン☞6ページ
7 設定ボタン☞38ページ
8 PCボタン☞22ページ
9 入力切換ボタン☞20ページ
10 音量＋／ーボタン☞2ページ
11 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ
12 リモコン受光部
13 BS電源ランプ☞29ページ
14 スタンバイ／スリープランプ☞2、64ページ
15 電源スイッチ／ランプ☞2ページ

1 Headphones jack page 14
2 VIDEO 2 input jacks pages 56-57
S1 -Video jack
Video jack
Audio-L jack
Audio-R jack
3 PC／RGB input jacks page 56
4 Enter button page 38
5 Select +/– buttons page 38
6 Menu button page 6
7 Preset button page 38
8 PC button page 22
9 Input Select button page 20
10 Volume +/– buttons page 2
11 Channel +/– buttons page 2
12 Remote Control sensor
13 BS（Broadcast Satellite) Power indicator page 29
14 Standby/Sleep indicator pages 2, 64
15 Power switch/indicator page 2

リモコン／Remote Control

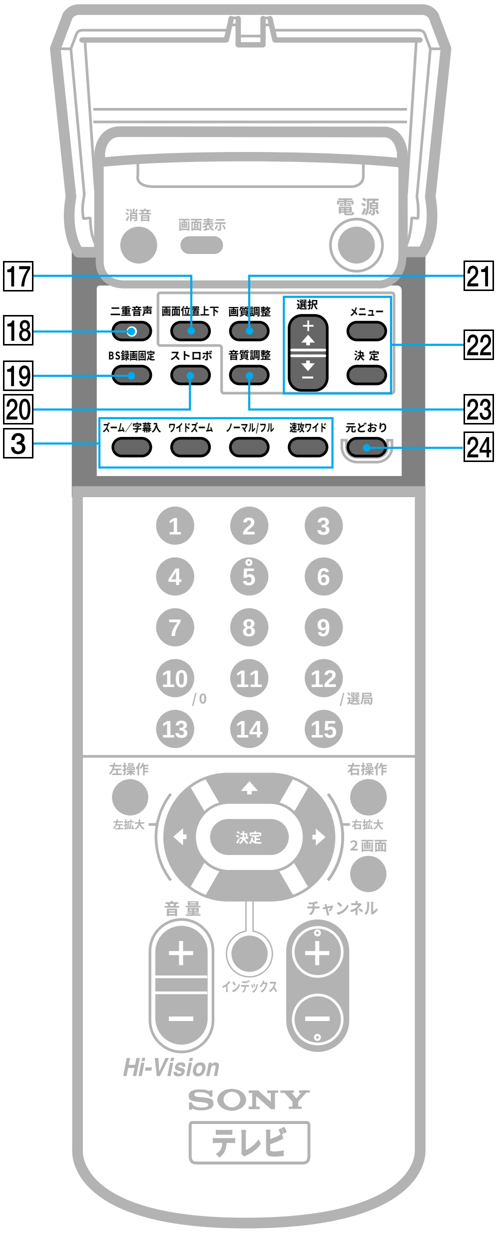


1 画面表示ボタン☞3ページ
2 消音ボタン☞3ページ
3 ワイド画面操作部☞8ページ
4 入力切換ボタン☞20ページ
　ビデオボタン
　HD／DVDボタン
　MUSE／RGBボタン
　外部チューナーボタン
5 チャンネル数字ボタン☞16ページ
6 左操作ボタン☞13ページ
7 ↑／↓／←／→／決定／左拡大／右拡大ボタン☞12、16ページ
8 音量＋／－ボタン☞2ページ
9 電源スイッチ☞3ページ
10 画面メモ☞19ページ
11 お好み画質ボタン☞24ページ
12 BSボタン☞2、21ページ
13 右操作ボタン☞13ページ
14 2画面ボタン☞11ページ
15 チャンネル＋／－ボタン☞2ページ
16 インデックスボタン☞16ページ

1 Display button page 3
2 Muting button page 3
3 Wide Mode Select buttons page 8
4 Input Select buttons page 20
　Video button
　HD/DVD button
　MUSE/RGB button
　External Tuner button
5 Channel Number buttons page 16
6 Left Picture Operation button page 13
7 ↑/↓/←/→/Select/Left Enlarge/Right Enlarge buttons pages 12, 16
8 Volume +/– buttons page 2
9 Power switch page 3
10 Screen Memo button page 19
11 Favorite Picture Type button page 24
12 BS (Broadcast Satellite) button pages 2, 21
13 Right Picture Operation button page 13
14 Twin Picture button page 11
15 Channel +/– buttons page 2
16 Index button page 16

つづく

リモコン扉内／Inside of the panel



17画面位置上下ボタン☞9ページ
18二重音声ボタン☞30ページ
19BS録画固定ボタン☞29ページ
20ストロボボタン☞18ページ
21画質調整ボタン☞25ページ
22メニューボタン☞6ページ
選択＋／ーボタン☞6ページ
決定ボタン☞6ページ
23音質調整ボタン☞27ページ
24元どおりボタン☞61ページ

17Picture Position button page 9
18Audio Mode (Bilingual) button page 30
19BS Recording button page 29
20Strobe button page 18
21Picture Adjust button page 25
22Menu button page 6
Select +/– buttons page 6
Enter button page 6
23Sound Adjust button page 27
24Reset button page 61

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax …………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

Printed in Japan

Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。